

報會定同高長



英知 · 高潔 · 氣魄



至誠 · 剛健 · 公正

第26号

2020



令和・そして新しい歳月



同窓会長
や り た けん じ
鎗 田 謙 二(昭和34年卒)

初春令月、気淑風和

長生高校同窓会は一昨年
の創立百三十周年を経て、
新しい時代の歳月を歩み、
新しい歴史を築いています。

同窓の出会いは人生の宝
であり生きたあかしでもあります。
母校の輝かしい歴史と伝
統のみならず、各地、各分野
での多士済々の活躍と、会
員相互の親睦と結束が今日
の同窓会の発展につなが
っています。

この度の記念事業における「アクティブラーニング
グループ」の設立は県立高校として最初の導入であり、
母校愛に燃える同窓や有力企業の激励の御寄附により
令和元年の末に完成されました。この施設が活用
され、在校生の教育学習能力の向上として近年中
にその成果が示されることと確信いたします。可
能性を秘めた若い生徒は郷土の希望の星であり
国の宝でもあります。

これからの十年の同窓会活動の充実は「組織改
革と組織率の向上」と考えております。昨年の総
会で八つの地域支部の代表者が同窓会の副会長
となり、その責任体制に基づく具体的な活動や
目に見える成果が期待されます。八つとは夷
隅梨葉会・長生支部・茂原梨葉会・大網白
里支部・市原支部・京葉梨葉会・東京長高
会・神奈川梨葉会であり、他に会長推薦者
1名、学校長1名の計10名と同窓会長を加
え11名で役員会を構成します。

さらに実動部隊として四つの小委員会を
発足させる計画です。

- 1. 年会費制度検討委員会(新設)
- 2. 中高一貫校検討委員会(新設)
- 3. 天夢塾運営委員会(既設)
- 4. 同窓会報編集委員会(既設)であります。

各委員会は副会長が担当責任者となり、
従来の委員と有識者の常任幹事が参入し
協力体制を構築する予定です。

一方、「長生高校教育振興基金運営委員会」は
本校教育の発展に資する必要不可欠な事業
に関わるものです。この基金がサポートする
内容は以下のものです。

- 1. 進学・就職指導の助成として教職員
研修やセミナー参加の補助
- 2. 部活動助成として関東大会・全国大
会出場者の補助
- 3. 生徒・教員の研究活動としての国際
交流活動の補助
- 4. 生徒の修学助成
- 5. アクティブラーニンググループの
整備運営費

これらは、高校での生徒活動や教員
の実力向上、授業力向上に必須の財源
ですが近年、賛助金協力者、寄付金
応募者共に減少し減額しております。
同窓会活動を支え、運営を維持する
ためにも資金のご支援をお願い申し
上げます。

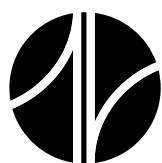
長生高校が全ての卒業生にとって掛
け替えのない母校として心から皆様
に愛され、青春の日の思い出や心の
ときめきと安らぎの場としてあるこ
とを願うとともに、同窓との再会や
旧友との会話が「人生のコーヒー
タイム」であり大切な「一期一会」
であるとも感じます。

同窓会では会員の親睦と結束そし
て心の拠り所となり母校の発展に
寄与しますが、その一方で人間は全
て生まれながら誰もが孤独な旅人
です。多忙のなか来し方、行く末
の日に思いをめぐらして充実した
時の流れを実感できるように努め
るのも同窓会の役目でもあります。

今後も多くの皆様と力を合わせ母
校の発展のためご支援・ご協力を
切にお願いし、令和二年のご挨拶
といたします。



アクティブラーニンググループ 授業風景



南 総 総 業 株 式 会 社

取締役 **宮田 修** (昭和26年卒)

各種製造請負・倉庫・環境整備事業・人材派遣業・不動産賃貸
ISO9001・ISO14001 取得

本 社 東金市 TEL 0475-54-3583 **事業所** 長柄町・茂原市

関連会社 南総通運(株)・南総タクシー(株)・南総建設(株)



長生高校の未来に向けて



校長
つちや しゅんいち
土屋 俊一

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動に対し、多大なるご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。おかげさまで、創立130周年記念事業の一環としてご協力いただきました寄付金により、県立高校では初となるアクティブラーニング（AL）ルームの設備が整い、点検と調整のため運用を開始しました。以前より本校では、全校規模でALに取り組んでおり、環境整備が急務となっていました。今後は、ALルームを最大限に活用し、ALの研究を深め、次世代を担う子どもたちの資質・能力の育成に努めていきたいと存じます。

急激に変化する現代社会において、自ら課題を見出し、解決策を導き出していく力、課題解決能力が強く求められています。本校全日制においては、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）を核として、理数科のみならず、普通科1年生全員が総合的な探究の時間で、課題研究に取り組んでいます。これは、本校独自のテキスト「長高メソッド」により、科学的リテラシーを基盤とした科学的倫理観、社会的実践力の育成を目指したものであります。加えて、本年度から新たに「コンソーシアム千葉」として、県立船橋高校と千葉大学を中心に高大接続枠のSSHが立ち上がりました。本校が協力校として参加し、現1年生を対象として5年間のプログラムが開始されました。また、英語の拠点校として、以前よりオールイングリッシュによる授業を実践しており、スピーキングテストの実施とともに、英語4技能の育成に努めています。本年度は、国立教育政策研究所の実践研究協力校にもなっています。

急激に変化する現代社会において、自ら課題を見出し、解決策を導き出していく力、課題解決能力が強く求められています。本校全日制においては、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）を核として、理数科のみならず、普通科1年生全員が総合的な探究の時間で、課題研究に取り組んでいます。これは、本校独自のテキスト「長高メソッド」により、科学的リテラシーを基盤とした科学的倫理観、社会的実践力の育成を目指したものであります。加えて、本年度から新たに「コンソーシアム千葉」として、県立船橋高校と千葉大学を中心に高大接続枠のSSHが立ち上がりました。本校が協力校として参加し、現1年生を対象として5年間のプログラムが開始されました。また、英語の拠点校として、以前よりオールイングリッシュによる授業を実践しており、スピーキングテストの実施とともに、英語4技能の育成に努めています。本年度は、国立教育政策研究所の実践研究協力校にもなっています。

海外交流事業として、姉妹校であるオーストラリアのノッサル高校へ生徒21名を派遣し、オーストラリアのフェアヒルズ高校の訪問を受けました。また、昨年度からのノルウェーからの留学生1名に加え、ドイツからも1名、夏休み前まで受け入れました。

運動部・文化部とも今年度もよく頑張りました。運動部では、総体県予選で、陸上男子5000m競歩7位、男子ハンマー投げ7位、女子ハンマー投げ5位、剣道女子個人3位、卓球女子ダブルス5位、と入賞を果たしました。秋の新人戦では陸上部3段とび、女子ハンマー投げで関東大会に出場しました。その他の運動部も数多く関東予選、総体予選、新人戦において県大会に出場し、結果を残しました。

文化部では、美術部、書道部が夏の全国総合文化祭佐賀大会に出場しました。秋の千葉県総合文化祭においては、美術部と写真部が、今年夏に高知県で行われる全国総合文化祭への出場が決定し、写真部からは関東大会出場者も出ました。また、吹奏楽やマンドリン、合唱の各演奏会でも素晴らしい演奏を披露し、多くの観客の皆さんに喜んでいただきました。

定時制においては、10月19日に千葉工業高校を会場として、千葉県教育委員会教育長をはじめ多くの来賓のご列席のもと千葉県定時制通信制高校文化大会が開催されました。この大会は、書道や写真、美術・手芸作品などの展示、演奏やダンス、生活体験発表など、千葉県の定時制通信制高校の生徒の日頃の取り組みを紹介するものです。本校生徒の作品や発表は、とても素晴らしいもので、高く評価され、多くの部門で入選を果たしました。

天夢塾では、本年度も数多くの同窓生が講師としてご協力いただき、後輩に貴重な体験を語っていただきました。長高生がこのような充実して学校生活を過ごすことができるのは、同窓の皆様方の物心両面でのご支援・ご協力の賜物であります。今後とも長生高校の更なる発展に向け、教職員一同全力で教育活動に取り組んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

南総通運株式会社



NANSO



国民生活の大動脈としておかげさまで77周年

一般貨物運送・倉庫・配送センター業務・各種製造請負・流通加工・不動産
ISO9001・ISO14001取得

本社 東金市 TEL 0475-54-3581 支店 千葉・東金・茂原・茂原中央・佐倉・茨城・埼玉

・ アクティブラーニングルーム完成! ・

創立130周年に皆様から寄せられた浄財2100万円余を用いて、記念事業として計画されたアクティブラーニングルームが完成し、いよいよ教育の場で2019年後期から利用され始めました。普通教室の2倍ほどある、旧工芸室、講義室がリフォームされ、別表に示す機器類とWiFi環境が整備されています。机と椅子は可動式で、グループ編成も機動的に行うことができます。

通常、生徒達は1台のホワイトボードの前にタブレットを持って8人単位で座り、教師が課題や教材をプロジェクターでホワイトボードに投影し、また生徒達も各自で作成した資料(問題の解や考え方)を写し、説明や議論しながら授業を進めます。各自のタブレットはどのプロジェクターにでも映すことができるので、情報の共有が簡単にできます。また、外部情報もインターネットを介して自由に利用できるので、

新しい教材、生の英語、各種映像などにも簡単に接することができ、教育の幅が広がるようです。若手の先生を中心にこれら機器をどのように使いこなして効果的な授業を行うかの検討もスタートしています。

県下の公立高校では最初の導入例となるこのアクティブラーニングルームが活用され、生徒達の新しい能力の開発に寄与していくことを期待します。

設 備	台数	備 考
机・椅子	45組	可動式
タブレット端末	45台	Microsoft Surface
プロジェクター	6台	1台は中央スクリーン用
電子ホワイトボード	5台	専用ペンでの書き込みが可能
音響設備一式		スピーカー、ワイヤレスマイク(2)など



出光興産株式会社販売店

千葉石油株式会社



代表取締役会長 **安藤 轟勇** (昭和31年卒)

代表取締役社長 **安藤 順夫** (昭和59年卒)

【業務内容】 直営給油所県内15ヶ所
燃料油、潤滑油、潤滑剤、オートガス、プロパン、
プラスチック包装材料、車検、整備、修理、自動車の
販売・リース、保険各種、レンタカー、福祉用具貸与

〒297-0026 千葉県茂原市茂原185 TEL 0475-24-3181 FAX 0475-25-1130
<http://www.chibasekiyu.co.jp>

支部短信

地域支部

東京長高会

会員数：約280名 設立：昭和35年

会長：渡辺賢次（昭44） 副会長：高梨栄二（昭52）

連絡先：事務局長 浅野文秀（平4）

E-mail：tokyo@chosei-dousoukai.jp

<令和元年度 活動報告>

○新年会：2月7日

品川プリンスホテルにて各支部有志により開催

○幹事会：3月14日、4月26日、9月6日、12月12日
開催

○第54回総会・講演会及び懇親会

6月28日品川プリンスホテルにて開催 参加84名

■講師 池上秀徳（昭和49年卒）

（株）公文教育研究会 代表取締役社長

■演題 教育を通じた社会の課題解決への貢献を目指して～KUMONの「広がり」への挑戦～



○長生高校OB有志ゴルフ大会：10月17日

長南カントリークラブにて 参加25名

<令和2年度 活動計画>

○新年会：2月8日（土）17:30～

品川プリンスホテルにて

○第55回総会・講演会及び懇親会：

6月20日（土）12:00～

品川プリンスホテルにて

※講演会の講師・演題は未定

京葉梨葉会

設立年 昭和35年頃 昭和59年第1回同窓会開催

会員数 例年総会出席者数80有余名

会長 水上 明美（昭44）

幹事長 鹿間 義弘（昭47）

事務局長 石渡 正信（昭48）

連絡先 〒260-0018千葉市中央区院内1丁目11番5号

京葉梨葉会事務局 石渡 正信

TEL 090-3205-5537 FAX 043-222-3022

E-mail keiyo@chosei-dousoukai.jp

ホームページ <http://www.keiyo-riyokai.com/>

令和元年7月12日に、令和初の総会を開催し、82名の出席がありました。講演会は、講師の元長生高校体育科教師で陸上部OBの関谷守氏（昭和42年卒）と共演者の同じく陸上部OBの植草利次氏（昭和42年卒）による「小出監督との出会いと陸上競技」と題した、非常に感動的なお話を拝聴しました。現在、当会では若手会員の参加を熱望しております。我こそと思う方はお申し込み下さい。入会金は無料です。また、部会活動、「文化部」、「ゴルフ部」、「ハイキング部」があり、それぞれ活発に活動しています。興味のある方は、ホームページ又は事務局までご一報ください。

大網白里支部

会員数：300名 設立：昭和62年

支部長 四之宮英明（昭40）

副支部長 富塚 修（昭40） 今井登志男（昭42）

穂坂あい子（昭43）

連絡先 橋本嘉夫（昭50） TEL：0475-72-2905



10月27日（日）、市内、南今泉のエンジ荘に於いて、「令和元年度支部総会」が開催され、二日前の記録的

医療法人社団
鎗田会

鎗田整形外科

院長 鎗田 謙二（昭和34年卒）

日本体育協会・公認スポーツドクター（認定番号 85534）

〒297-0028 茂原市道表3（茂原市役所前） TEL 0475-24-8686 FAX 0475-24-1278

URL <http://yarita.byoinnavi.jp>

な集中豪雨の直後でしたが33名が集いました。

総会では、四之宮支部長の挨拶の後、事務局長の要職について10年間にわたりご苦勞頂いた富塚修氏（昭和40年卒）が引退され、橋本嘉夫氏（昭和50年卒）が新たに就任され紹介がありました。その後、ご来賓の本部同窓会館田会長からご挨拶をいただきました。

記念講演は鈴木秀夫氏（昭和46年卒）が「小出監督の思い出と東京オリンピック」のテーマで小出監督の後を追って切磋琢磨されたご自分の陸上人生を熱く語られ、講師と小出監督の生き様に深く感動しました。その後の懇親会は、前回同様に30-10運動（食料廃棄の無駄をなくすため宴会の最初の30分と最後の10分は自席で食事する）を実施する旨の宣言がされた後、木島肇顧問の乾杯により始まりました。カラオケ等で宴会は盛り上がり、結びは校歌斉唱の後、白井伸夫茂原梨葉会会長の万歳三唱で閉会となりました。ご多様の中、ご来賓をはじめ多くの会員の皆様にご参会を頂きまして、誠にありがとうございました。今後も更に同窓の輪を拡げて参りたいと思います。

茂原梨葉会

会 長 白井伸夫（昭41）
副会長 池澤 亮（昭47） 荒 徹（昭58）
連絡先 白井伸夫〒297-0029 茂原市高師291-11
TEL：0475-22-3762

令和元年度総会は10月26日に大和屋旅館にて、ご来賓に同窓会副会長四之宮英明様をお迎えし、会員30名が参加し開催されました。総会においては、①会務(事業)報告、②決算報告・監査報告、③次年度事業計画など、議事案に順次討議・採決が行われ議事案通り承認されました。

その後、懇親会に移行し祝宴に入り、和気あいあいの中、宴は進み、最後に校歌を高々に歌い、本会並びに母校の隆盛を願い散会いたしました。



市原支部

会員数：50名 設立：平成22年

会 長 花澤 良三（昭42）
連絡先 〒290-0141 市原市ちはら台東2-11-13
TEL：0436-52-3358

令和元年10月20日、第9回目の総会を参加者24名で開催いたしました。当会の方針は、「学んだ学校への報恩の気持ち」と、「共に学んだ学友と交流を深めること」が両輪だと考えています。

第1部の総会は鎌取コミュニティーセンターサークル室で行い、同総会会長の館田謙二様のご臨席を賜りご祝辞を頂きました。続いて、勝部恭央教頭先生から、市原市出身の生徒が今ではかなりの割合になっていることや、現役学生の活躍ぶりなどを画像を交えて紹介して頂きました。引き続き講演会では、本納在住の、古山文夫氏（昭和42年卒）に「外国で学ぶ子供達」として、講演して頂きました。古山氏は、小・中学校の校長を歴任され、定年退職後はトルコのイスタンブール日本人学校の校長を平成23年4月から3年間勤められました。その時のエピソードを様々な角度から紹介して頂き、日本人学校の活動と生徒達の様子、トルコの人達の日本に対する考え方、トルコ旅行の穴場及び見所などまで沢山の写真や動画を交えての説明は、知らないことばかりで大変興味深いものでした。

第2部の懇親会は、場所を鎌取駅南口の居酒屋「魚民」に移して行いました。講師の古山文夫氏やその教え子の方々にも参加して頂き、大いに盛り上がりました。皆で触れ合いの出来る環境での飲み会でした。また会費の中から些少ですが、教育寄付金として同窓会に寄付させて頂きました。来年の皆様参加をお待ちしています。

夷隅梨葉会

会員数：275名 設立：平成23年

会 長 中村 玲子（昭35）
幹事長 永野 佳代（昭52）
連絡先 事務局長 小守千明（昭43）

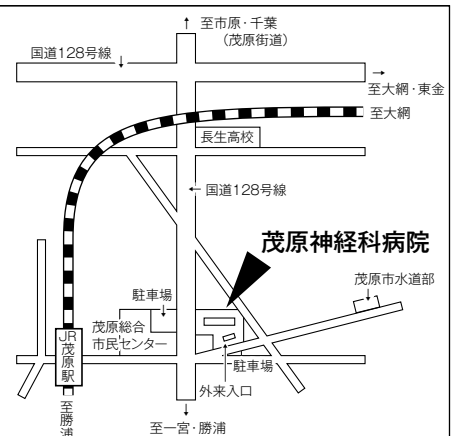
精神科・神経科・心療内科・神経内科・内科

茂原神経科病院

茂原市町保34(茂原市総合市民センター隣)

Tel.0475(23)6222(代表)

院 長 高瀬(池田)直子(昭和40年卒)



〒298-0002 いすみ市日在1853-1

FAX : 0470-63-1490

E-mail:isumi@chosei-dousoukai.jp

令和元年11月17日(日)、第9回夷隅梨葉会総会を初の試みとして貸し切りのいすみ鉄道車両の中で開催しました。ご来賓として同窓会副会長 四之宮英明様、長生高校教頭田村信夫様にご臨席を賜りご挨拶をいただきました。

総会後は、いすみ鉄道新社長古竹孝一氏に「いすみ鉄道新社長のビジョン」というテーマで、ご自身の自己紹介を兼ねて講演していただきました。香川県からいすみ鉄道改革に向けて来られた社長のお話は、地元に住んでいる私たちにとって興味深いものでした。当日は晴天に恵まれ、車内に設置したビールサーバーは早々と空になりました。車窓からのどかな夷隅の田園風景を見ながらの総会でした。



長生支部

会員数：476名 設立：平成25年

会長：渡邊公雄(昭46)

令和元年度総会を11月9日、白子町の「ホテルニューカネイ」にて開催しました。令和元年は9月9日の台風15号と10月25日の集中豪雨により長生郡内でも大きな被害が発生しました。会員の中には被害に遭われた方が多数おり、改めてお見舞い申し上げます。

このような状況の中の総会でしたが、44名の出席をいただき、議案を審議し原案どおり承認されました。本年は役員改選の時期となり、中村早苗会長の勇退に伴い渡邊公雄氏(長南町)が会長に選出されました。総会

の会場で被災地へのお見舞い金を集め、被害の大きかった長柄町と長南町(いずれも町長は長生支部会員)へ届けました。

総会前には元外務省セブ領事事務所長の鶴岡千晴氏(昭和49年卒)の『外交官としての人生を振り返って』と題した講演を聞きました。

総会後の懇親会の中のアトラクションとして昭和43年卒業生でつくるバンド「バック・トゥ・ザ・カントリー」の演奏がありました。今後も色々な企画をして楽しい総会となるようにしたいと思います。

長生支部では『支部だより第5号』を発行しました。同窓会ホームページにアップしてありますので、長生地地区以外の方もご覧下さい。



神奈川梨葉会

会員数：300名 設立：平成28年

会長 黒田 光保(昭37) 横浜市旭区在住

副会長 林 正壽(昭40) 横浜市港北区在住



令和元年5月19日、横浜駅東口の崎陽軒本店において、来賓として同窓会本部から鎗田謙二会長、田村信夫教頭、東京長高会から大井邦彦会長をお迎えし、33名

白石管工事株式会社

その先に笑顔がある

白石 健司(昭和40年卒) 白石 秀正(昭和43年卒)

白石 平和(平成7年卒) 白石 真生(平成6年卒)

雉子島秀一(平成7年卒) 白石咲絵子(平成14年卒)

業務内容

- 都市ガス配管工事の施工及び施工管理
- 上下水道工事の施工及び施工管理

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮4287番地の6

TEL 0475-42-2372

出席(初参加4名)の下に第4回総会・懇親会を開催し、和やかに楽しく過ごしました。

今回の特別講演は、黒田医院院長の黒田光保さん(昭和37年卒)から「糖尿病～その予防と治療について」というテーマでお話いただきました。身近な話題で非常に役に立つ内容でした。

第5回(令和2年度)総会・懇親会は、以下のとおり予定しております。ご案内は4月中旬にさせていただきますが、神奈川県在住または在勤在学の同窓生多数の参加をお待ちしております。

◇日時: 令和2年5月17日(日) 12:00~15:00

◇場所: 崎陽軒本店(横浜駅東口)

◇連絡先: 事務局 高田 喜久(昭47)

E-mail kanagawa@chosei-dousoukai.jp

☎090-5787-7064

名が参加し、親睦を深めました。

○来年度の活動計画

令和2年1月18日(土)、ヴェルシオーネ若潮において、総会の開催を予定しています。

千葉市役所梨葉会

会員数: 77名 設立: 昭和61年

会 長 村杉浩(昭55) 幹事長 深山秀文(昭56)

Eメール hidefumi6546@city.chiba.lg.jp

千葉市役所に勤務する卒業生が会員となり、毎年度の定例行事として5月の総会、翌年1月の新年会のほか、随時、有志による親睦ゴルフ大会や様々な懇親会を開催し、親睦を深めております。

今年度の総会は、鎗田同窓会長、勝部教頭先生にご臨席いただき、創立130周年を迎えた母校の進学校としての先駆的な取組や後輩の皆さんの文武にわたる活躍のお話を伺い、懇談後、恒例の出席者全員による校歌斉唱で締め、盛会のうちに終了いたしました。令和を迎え、今後とも会員同士の時代と世代を超えた交流と親睦を深めて参りたいと考えております。

茂原市役所梨葉会

会員数: 約200名 設立: 平成21年

茂原市役所梨葉会は、平成21年、母校の創立120年を機に設立され、約200名の職員で構成されています。長生高校の地元である茂原市の発展のため、同窓職員が各分野で連携を図りながら、日々業務に邁進しております。

さて、本年はやはり災害について触れざるをえません。9月の大規模停電、10月の台風19号もさることながら、茂原市ではとりわけ10月25日の大雨により甚大な被害が発生いたしました。市職員としても痛恨の極みではありますが、復旧や今後の対策に全力で取り組んでいるところです。

一方、本市の近況に目を向けますと、令和2年2月には「茂原長柄スマートインターチェンジ」が開通します。圏央道の利用増加や市の産業振興に寄与するものと期待しているところです。

これからも、地元「茂原市役所梨葉会」として、会員が高い職業意識を持って仕事に励み、明るく豊かな茂原市を築き、次代へ引き継いでいきたいと考えております。

最後になりますが、長生高校同窓生及び在校生の皆様の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

支部短信

職域支部

ちばぎん梨葉会

会長 大和久 雅弘(昭54)

まず初めに、昨年の台風・豪雨により被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

さて、ちばぎん梨葉会は現在、千葉銀行に在籍している111名と銀行OB・OGの94名とを合わせ、会員数205名の大所帯です。

毎年8月には茂原市内の大和屋旅館で総会を開催し、入社1年目の行員からベテラン支店長、第一線を退かれた後も銀行を応援して下さる先輩方まで、世代の垣根を越え長生高校の同窓として親交を深めています。総会の終わりには校歌を斉唱し、参加者全員が“元気”を充電できる貴重な機会となっています。

千葉銀行は昨年3月で創立76年を迎えました。地域の皆さまからのご支援、ご愛顧の賜物であり、心より感謝申し上げます。これからも地域のお客さまに信頼される銀行を目指すとともに、会員ひとりひとりが地域社会への貢献を意識して行うことで、母校のご恩に報いてまいりたいと思います。

最後になりますが、長生高校卒業生および在校生の皆様の益々の御健勝、御活躍を御祈り申し上げます。

千葉県警察梨葉会

会員数: 67人 設立: 昭和59年頃

会長 片岡 利彦(昭53)

幹事 高浦 賢太(平14) TEL: 080-1194-9794

○今年度の活動

平成31年1月19日(土)、千葉市美浜区高洲3-8-5 ヴェルシオーネ若潮において千葉県警察梨葉会を開催しました。OB、OGの参加をいただいた他、現役17



同期会短信

昭和34年GH組卒業生 同窓会

こうじ たかあき
幸治 孝明

令和元年7月13日(土)に開催されました同窓会について報告いたします。

私どもの同窓会は平成2年に第1回を、そして本年、令和元年に第30回を茂原「網元」で開催しました。勝浦三日月ホテルで第1回の産声を上げ12回を開催、途中大和屋旅館をはさみ平成15年から茂原「網元」で17回を数えています。参加者は初期には30名を超えた記録がありますが、最近は十数名といったところです。

中身は定番の近況報告や校歌斉唱のほか物故者への黙祷を行っております。近況報告から様々な生き方が語られてきました。配偶者との別れ、がんとの闘い、一方で趣味の世界も海外旅行からゴルフまで、多種多様な人生を人それぞれ60年の生きざまがうかがえます。

来年には80歳の台に乗ります。卒業記念アルバムには94名の名前が記されておりますが、残された同輩と健康寿命を全うしたいと願っております。



昭和44年理数科入学50周年記念クラス会

あんどう よしあきら
安藤 嘉朗

長生高校理数科は、昭和44年4月に開設され、平成31年4月に、開設50周年を迎えました。平成31年4月13日(土)、昭和44年に理数科に入学した第1期生の入学50周年を記念してクラス会が行われ、当時の入学者41名のうち、21名が集まりました。このクラス会は、高校卒業後、「義理と人情の柵会」という名称で、継続して開かれており、今回は、皆が65歳を超えて前期高齢者になり、また平成最後のクラス会ということで、3重の記念の会になりました。

会は、クラス会の継続に尽力してくれている常任幹事の岩崎恒雄君と会場を提供してくれている「レストラン邪夢」(千葉市市場町)のオーナーでもある野口雅一君の2人の挨拶から始まり、物故者6名に対して黙禱。千葉桂三君の音頭で乾杯の後、それぞれ懐かしい語り口からのスピーチがあり、それぞれがまだまだ様々な分野で活躍している話に励まされるとともに、中には抱腹絶倒の話もあり、楽しさ満杯の時間となりました。会の終盤は、校歌斉唱(会場がライブハウスなので音響は完璧)に続き、千葉君のギター伴奏で「風」(北山修作詞、端田宣彦作曲)を合唱。最後に、長生高校教師でもある関信夫君の挨拶と「また会いましょう」の唱和で中締めとなりました。

入学後50年間、親しい付き合いが続いていること自体大変ありがたいことですが、平成最後の月に、笑顔で開講(邂逅)50周年を祝えたことは奇跡のように思われたことでした。末筆ながら、この場を借りて、担任であった故渡辺高秀先生、故年光保昌先生はじめ恩師の皆様、関係者の皆様にあらためて心からの感謝を申し上げる次第です。



A I K A 愛花創業株式会社

代表取締役 花澤 良三 (昭和42年卒)

市原市海士有木661-3 TEL:0436(36)1160

クリーンエネルギーを推進するメガソーラーコンサルタント

(一社) 千葉県宅地建物取引業協会会員

昭和53年卒業生 還暦記念同窓会

幹事 ^{なえしろ}苗代 ^{みのる}実、^{いとう}伊藤 ^{こうすけ}浩介

2019年8月11日(日)海浜幕張のホテル ザ・マンハッタンにて、還暦記念の同窓会を開催致しました。10年前には茂原の平安閣(無くなっちゃいました)では140人が集まりましたが、お盆に開催と言う事もあり80名の参加でした。

みんな節目の年ですので、健康と薬の話が多かったものの色々な情報交換や昔話に華が咲きました。

クラス単位でのメンバー紹介&記念写真と校歌合唱からの集合写真で大いに盛り上がりました。今後、オリンピックイヤーに「安否確認会」を誰も来なくなるまで続けよう!と言うお開きでした。写真沢山掲載しますので、知ってる方を探してください。



平成5年卒業生 令和元年記念同窓会

幹事長 ^{ふなみ}船見 ^{ともみ}友美

長高最高!!

私たち平成5年卒業生は、令和元年を記念して同窓会をいたしました。

同窓会をする度に実感する事・・・それは、「長高の仲間って素晴らしい」と言う事です。

育ってきた環境や知識レベル、また同郷と言う事から、すぐに年月を埋め距離を縮められます。

卒業して初めて30歳を迎える年(今から15年前の2004年)に学年同窓会を開催し、100名ほどから始まった同窓会でした。次の同窓会は5年前の2014年に40歳記念で行い、180名弱の同級生と恩師が集りました。

40歳の同窓会をきっかけに、再度親交が深まり、プチ同窓会などの行事を各地域や、クラスで行うようになり、「仲間っていいな」と、改めて実感しています。

いろんな立場・境遇の方がいらっしゃり、お互いの刺激にもなり、とても楽しい会です。

また、今回の同窓会では、3次会のカラオケボックスで、60歳記念の長高同窓会の方々と偶然一緒になり、意気投合し、お部屋に合流させていただくなど、益々長高愛を感じた次第です。

もともと10年に1度。とって始めた同窓会ですが、恩師の先生方も高齢になられ、お元気なうちにまた会えるようにと5年に一度になりました。次回の開催予定は令和6年のお盆の予定です。なんと50歳になります。

私たち平成5年卒業生も、先輩方に習って生きている限り同窓会を開催していこうと思っています。そして、60歳の記念では「長高湯けむり温泉バスツアー」同窓会を開催する予定です。また、その時はご報告させていただきます。



2019年8月デジタルハリウッド STUDIO千葉を開校しました!



〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見2-15-1 ワラビビル7F-B



本社 〒297-0035 千葉県茂原市下永吉399-1 TEL.0475-22-3593(代) FAX.0475-24-8860 E-mail sakura@sakura-insatsu.co.jp

ねがい：納めて喜び 納めて喜ばれる会社

制作・印刷・製本まで社内一貫生産体制によりお客様のご要望に柔軟に対応しております。

- パンフレット・チラシ・ポスター
- 冊子・記念誌・広報誌
- 自分史・写真集・画集・詩集
- 名刺・封筒・ハガキ・伝票
- ホームページ制作・AR・電子ブック
- 出版(ちば日帰り入浴本)・自費出版(さくら本づくり倶楽部)
- indeedに対応した採用サイト制作



株式会社 さくら印刷

代表取締役 鎌田 俊郎 (昭和49年卒)

千葉支店 〒260-0854 千葉県千葉市中央区長洲1-21-4NHビル1F TEL.043-227-5417(代) FAX.043-224-1787 E-mail chiba-shiten@sakura-insatsu.co.jp

URL <https://www.sakura-insatsu.co.jp>

地域と共に55年



E-mail : k-ichihara@marusho-const.co.jp
<http://www.marusho-const.co.jp>
 母校の発展とご活躍を期待しております。

MARUSHO
 CONSTRUCTION CORPORATION

株式会社 丸昇建設

代表取締役 市原 一明 (昭和59年卒)
 工事部長 酒井 龍一 (平成元年卒)
 〒298-0003 千葉県いすみ市深堀1458
 TEL 0470-62-1978 FAX 0470-62-1428

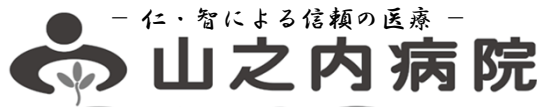


内科・小児科・皮膚科・リハビリテーション科

医療法人社団 清鈴会

大木医院

理事長 大木 専一郎 (平成3年卒)
 茂原市早野463-3 Tel.0475(23)2546



医療法人社団 上総会 YAMANOUCHI HOSPITAL
 介護老人保健施設 ケアセンター **かずさ**

理事長 武田 從信 (昭和26年度卒)
 病院長 武田 將伸 (昭和58年度卒)
 診療部長 井上 紳江 (昭和61年度卒)
 (武田)



〒297-0022 千葉県茂原市町保3
 Tel:0475-25-1131 Fax:0475-24-5645 <https://www.kazusakai.jp>

さいしゅ法律事務所

辯護士 最首 良夫 (昭和27年卒)

〒262-0019
 千葉市花見川区朝日ヶ丘5丁目2番1号
 TEL 043-271-0340
 FAX 043-271-0360

コンクリート二次製品製造販売

日本産業規格認証取得工場



取締役 会長 浅野 和夫 (昭和31年卒)
 取締役 副会長 浅野 稔 (昭和34年卒)

〒299-4612 千葉県いすみ市岬町江場土2746-1
 TEL0470-87-3121

精神科・神経内科
 医療法人社団 望葉会 精神保健指定医

日下医院

医院長 日下 忠文 (昭和32年卒)

月～金曜 AM9:00～12:00 PM1:30～5:00
 土曜日 AM9:00～12:00 PM1:30～3:00

TEL (043) 287-6156(代) FAX (043) 287-6217
 ホームページアドレス <http://www.kusaka-clinic.or.jp>
 千葉市中央区東千葉1-1-1
 JR千葉駅よりみつわ台車庫行③番乗場 祐光3丁目バス下車

令和元年度天夢塾

◇第23回

日 時 令和元年6月27日(木) 13:30~16:00

対 象 1年生(280名)

内 容

講 師	組	講 義 内 容
A 三橋 国郎	1A	農業を考える足掛かり 食糧の話と起きつつある危機
B 宇佐美信幸	1B	観光で稼ぐ地域を目指して ~2020年、その先を見据えて~
C 白井 武樹	1C	世にないものを創り出す
D 中村 正利	1D	たった一度のかけがえのない人生、あなたは どう生きますか?
E 古山 文夫	1E	海外で学ぶ子供達 ~主に南西アジア・中東・ アフリカ地区日本人学校で学ぶ子供たち~
F 風戸 真美	1F	学生からビジネスパーソンへ ~私たちの選択~
G 三次 充和	1G	海・川・森を行ったり来たり ~フィール ドワーク系大学での学生生活とお仕事~

講師略歴等

三橋 国郎 (平成8年卒) 光国農園
 宇佐見信幸 (平成13年卒) 合同会社いちのみや観光局
 白井 武樹 (昭和36年卒) 元THK株式会社 常務 産業機械・免震
 システムの開発・販売
 中村 正利 (昭和62年卒) ドリマーズ株式会社 代表取締役
 古山 文夫 (昭和42年卒) 元アンカラ・ローマ・イスタンブル日本人
 学校校長
 風戸 真美 (昭和63年卒) 株式会社リクルートフロムエー コーポレー
 ト企画室
 三次 充和 (平成9年卒) 東京大学大学院 千葉演習林



◇第24回

日 時 令和元年11月22日(金) 13:30~16:00

対 象 2年生(318名)

内 容 (2年生の天夢塾は、生徒の希望を取り各講座に振り分けしている)

講 師	講 義 内 容
A 石井 安文	情熱に優る能力無し
B 戸村 孝	異常気象に市民はいかに天気予報を役立てるか
C 石塚 達郎	世界で活躍する技術と人材
D 岡崎けい子	接客とマナー ~元JAL CAの経験から~
E 正林 真之	“内なる知財”に目を向けてみよう
F 山口真矢子	人生に必要なことはすべて新聞社で学んだ ~マスコミ業界の仕事とやりがいについて~
G 宍倉 正展	土地の成り立ちを知って自然災害を生き抜く
H 古山 英明	日本全国津々浦々!

講師略歴等

石井 安文 (昭和33年卒) ノエビア千葉販売株式会社 代表取締役
 戸村 孝 (昭和48年卒) 株式会社ウエザーニューズ 監査役
 石塚 達郎 (昭和49年卒) (株) 日立製作所 元代表執行役副社長
 日立建機(株) 前代表執行役会長
 岡崎けい子 (昭和55年卒) 外資系金融機関
 正林 真之 (昭和59年卒) 正林国際特許商標事務所 所長・弁理士
 山口真矢子 (昭和62年卒) 朝日新聞社 東京本社 CSR推進本部
 宍倉 正展 (昭和63年卒) 産業技術総合研究所
 古山 英明 (平成7年卒) 千葉県商工会連合会所属 いすみ商工会出
 向 経営指導員



ノエビアは世界中の植物を研究し
一度使えば忘れられない至福の自然派化粧品です

代表取締役 **石井 安文** (昭和33年卒)

ノエビア千葉販売株式会社

〒260-0013 千葉市中央区中央4-12-17
 TEL 043-225-5141(代)
 FAX 043-224-7902

新千葉法律事務所

弁護士 **岡 部 文 彦**
(昭和33年卒)

事務所
 〒261-0026 千葉市美浜区幕張西1丁目12番14号
 電話 043(445)7039 FAX 043(445)7040

◇第25回

日時 令和2年1月9日(木) 19:15~20:30

対象 定時制全学年(45名)

内容

講師	組	講義内容
かわむら やすおみ 河村 恭臣氏	全学年	大学で頑張ったこと

講師略歴等

麗澤大学4年生

平成25年3月 大多喜中学校卒業

平成28年3月 千葉県立長生高等学校定時制の課程卒業

平成28年4月 麗澤大学入学 現在に到る



河村さんは車椅子で高校生活を過ごされ、大学に進学されました。



我こそはと思われる同窓生は、講師として奮って手を挙げてください。事務局までご連絡を。

太陽の里グループ 代表取締役 鎗田善廣

昭和35年卒業

別荘

海と森

☎0479-21-6300

〒288-0012 千葉県銚子市犬吠崎10292-1

スバ&リゾート 九十九里 天然長生温泉 美人の湯

太陽の里

☎0475-32-5550

〒299-4327 千葉県長生郡長生村一松3445

寛政6年(1794年)開設

永吉の眼科

第8代院長 千葉 彌幸 (昭和36年卒)
長生高校学校医

受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8時~11時	●	●	●	×	●	●	×
14時~17時	●	×	●	×	●	●	×

☎(0475) **22-5459**
茂原市上永吉732

(医) 薫聖会

高梨 齒科 医院

Dentistry is a Work of Love

理事長 **高梨 薫敏** (昭和36年卒)

理事 **高梨 聖敏** (平成5年卒)

勝浦市墨名781-7
TEL: 0470-73-1051

社会福祉 法人

長生共楽園

理事長 **林 正彦**
(昭和38年卒)

養護老人ホーム ☎0475(24) 2207
 特別養護老人ホーム ☎0475(22) 1888
 特別養護老人ホーム第二長生共楽園ひめはる ☎0475(20) 2288
 茂原市みなみ地域包括支援センター ☎0475(20) 2626
 居宅介護支援センター ☎0475(22) 8866

白井浩介税理士事務所

顧問 **白井 伸夫** (昭和41年卒)

所長・税理士 **白井 浩介** (平成5年卒)

〒297-0029 千葉県茂原市高師291-11
 TEL 0475-22-3762
 FAX 0475-24-1333
 メールアドレス siron115@sea.plala.or.jp

公共測量全般・地籍調査・環境調査・地理情報システム

日東測量株式会社

代表取締役 **田中 功** (昭和42年卒)

土地家屋調査士事務所併設

本社 〒276-0031 千葉県八千代市八千代台北16-4-18
 TEL 047-486-4356(代) FAX 047-486-4550
 E-mail nittou-sokuryo@gaea.ocn.ne.jp
 市川支店 〒272-0023 千葉県市川市南八幡2-16-23幸水荘B号室
 TEL 047-300-8888(代) FAX 047-378-6010
 E-mail nittou-itikawa@star.ocn.ne.jp

同 窓 生 イン タ ビ ュ ー

伝統の蔵を
受け継いで

あき ば たか こ
秋 場 貴 子 氏に聞く



オリンピックサーフィン会場となる九十九里浜の釣ヶ崎海岸を擁する長生郡一宮町。秋場家は一宮町東浪見に根付いて450年、文政年間にはすでに酒造業を営んでいたという。その老舗、稲花酒造を編集委員の村上、北島、篠崎が訪問し、第十二代当主の秋場貴子さんにいろいろお話を伺った。

——ずいぶん年季の入った建屋のようですが

秋場 はい、酒造りの建屋には江戸時代のものもあり、古い壁には酵母菌が住み着いていますよ。酒樽はいまでは珙瑯引きのタンクになりましたが、その樽のある建屋は2階建て相当の高さで、江戸時代のを昭和初期に建て増ししています。

——生まれも育ちも一宮でしょうね

秋場 はい、この地に生まれ育ちました。年子の妹との二人姉妹です。小さいころ、最盛期には職人さんを含め50人くらいがこの家に寝泊まりして、女中さんも5~6人おり、母が家のことを仕切っておりました。しかし、古い家のしきたりで、食事も当主と職人さん達が終わってから、最後に母と子供達の番になるというような暮らしでした。食事の内容は主従同じものでした。

——子供の頃の思い出は？

秋場 そうですね、幼児の頃、母が仕事をする畑の隅で、職人用のおひつを保温するための大きな藁づとに、作業の邪魔にならないようにと、妹と二人で入れられていたことなど覚えていますよ。昭和30年台前半は日本酒業界が盛りを迎えつつあった時期で、家はとても活気がありました。経済的にも恵まれていたので、テレビもいち早く購入して、プロレスや相撲番組がある日などはふた間ぶち抜き奥座敷に近所の人が大ぜい観戦に来たものでした。東浪見小学校4年生の時には白血病にかかりほぼ欠席。周囲はずいぶん心配したようでしたが、奇跡的に1年で回復し、それから父には体を鍛えることを勧められました

——高校時代はどのように過ごしましたか？

秋場 一宮中学校時代からやっていたバレーを続けました。先輩方が良い成績を残されていたので、それに続けとばかりに毎日猛練習の日々。今で言えばしごきに近いものがありました。それに耐えたことが後の財産になったかも。バレーは結婚しても続けて地域のママさんバレーでも活躍しました。

——高校卒業後の進路は？

秋場 父は若い頃から病弱で、私が18才のときには咯血をして、短命であることを告げられました。高3の進路を決める際に、後を継いでほしいからとの父の強い願いで、東京農業大学の醸造学科に進むことにしました。後に発酵学者として有名になる小泉武夫先生の研究室で学びました。入学した年の5月に父は他界しましたが、農大に受かったことをとても喜んでくれていました。当時の醸造学科は学年120名のうち女子は5名。ところが最近では女子の方が多いのですって。

——大学を出てからは？

秋場 はい、実は家業を継ぎたくなくて、食品、酒類などを販売する明治屋に就職したんです。稲花酒造は父の死後、その姉が社長として経営しておりました。しかし、その伯母と母からどうしても家に帰って後を継ぐようにと何度も催促され、27才のときに結局一宮町に戻って参りました。

——一宮町に戻られてからは？

秋場 稲花酒造の営業の手伝いをまずやりましたが、当時この業界は男尊女卑の風潮が根強く、酒販店でセールスや会合などでも女一人では相手にされないこともしばしばでした。29才のときに結婚してからは、少しは周囲の見目も違って来たかと思います。主人はもともと企業の経理の仕事をしていましたので、結婚後も酒造り自体には関わらず、そこは私に任されてきました。

——酒造りにはどんなふうに関わっていったのですか？

秋場 戻ってからまずやらされたのは、追廻しと呼ばれる洗い物がメインの釜場での仕事です。初めのうちは、男衆と較べると非力ですから、作業が時間内に終わらせられません。でも、だれもお嬢さんだからといって手伝ってはくれませんでしたよ。それでもへこたれずに、なにくそと思ってやり遂げられたのは、バレー部でさんざん鍛えられていたせいかなあ。酒造りのノウハウに関しては、先代が根回しをして、国税局から派遣される鑑定官に3年間ほど同行させてもらい、地区の蔵を回ったのも大きいですね。鑑定官は各蔵を巡回して、酒造りを指導する役目ですから、そばにいろいろな知識を吸収できました。それから40年近くたって今更ながら思うのは、酒造りには五感が重要だということです。今は製造装置、分

析機器が発達して、データ偏重の風潮がありますが、最後の決め手になるのはやはり人間の感覚、つまり目で見て、耳で聴いて、匂いを嗅いで、手で触って、舌で味わうことなんですよ。

——その後の展開は？

秋場 先代が亡くなった年に新たに働くことになった南部杜氏は、まだ受賞歴の無い人でしたが、「あそこの娘は利き酒もできるし知識もあるから、一緒に頑張れば賞も取れるぞ」と言われて来たとか。その後一緒にいろいろ苦労を重ねて、品評会で立派な賞をいくつも頂きました。私も冬の間は子供を寝かせて夜の8時から11時まで蔵にいて、品質管理をしました。今では、杜氏をよそから呼ぶことはなく、私も手伝って、社員が酒造りを統括しています。

——ところで、日本酒は年々消費量が減っているとよく聞きますが、経営環境も厳しいのでは？

秋場 ええ、とても厳しくて、13年前には後継者のこともあり、蔵を閉じようと思ったくらいです。でも長男が継ぐと言ってくれましたので、今はいかに時代の変化に合わせて生き延びるかを考えています。量を追うのではなく、品質の良い酒、特徴のある酒に付加価値をつけ、利益率を上げていくことが必要でしょうね。今もてはやされている系統のお酒が絶対ということではないので、稲花酒造ならではのコアな酒造りでファンを増やしたいと思っています。また、付加価値という点では、この伝統のある蔵自体も利用しなくてはと、お客様に酒蔵を見てもらうことも始めています。蔵でのジャズコンサートを企画したりも。また、代々造りためてきた古酒をプロモーションすることも始めました。

——旧家ならではの文化的な遺産もあるのでは？

秋場 ええ、日本画家の石川響さん(1921-2000)は、同じ長生中学出身という縁で、父が奥座敷を画室として提供して日展に出品する作品などもそこで制作されたそうです。酒造りの工程を版画に残してもらいました。また、長高の校歌の作詞も手がけている詩人の白鳥省吾さん(1890-1973)も、東浪見の遍照寺が母方の実家ということで、疎開された昭和18年から36年までそこにお住まいで、多数の文人墨客の方達をお連れして来られたときには、奥座敷で大宴会でした。今、当時頂いた書簡などを、整理しているところです。

——日本酒の話題に戻りますが、いわゆる利き酒は誰でもできるのですか？

秋場 やはり先天的なものがありますが、訓練によっても上達します。日本酒の利き酒では、できたお酒の品質はもとより、製造プロセスの差異にまで気付くようになることが要求されます。そのためには含まれている、特徴ある各成分を特定できなければなりません。例えば香気

成分であるカブロン酸エチルや酢酸イソアミル、味に係する有機酸、アミノ酸、ブドウ糖等々。水で希釈率を変えた化学物質を閾値に到るまで感知する訓練を受けます。同業者が集まって居酒屋にいけば、この酒は麴が若かったね、これは蒸しが悪いのかな、絞りが早かったのかも、などと品評会になってしまいがちですが、こまごまなるにはやはり年季もかかります。

——お客さんへの対応はどのように？

秋場 販売会や店頭にお見えになる方には、お酒の好みはもちろん食事の傾向などもお聞きしてから良さそうな銘柄を勧めます。顔なじみの方にはこの前これが美味しかったとか言って頂きます。これから外国の方にも日本酒を飲んでもらいたいですが、まだ好みがよくわかりません。ただ、昨年成田空港の免税店で4日間ほど販売するチャンスがあったのですが、ドライタイプや梅酒が好まれたとか、アジア系と欧州系は好みが異なるとか、ワイン文化圏の人は淡麗タイプは好みでないようだとか、いろいろヒントがありました。しかし、海外への販路の確保は、私達の規模の会社では、よほどのノウハウや、つてがないと難しいのが現実です。



ご多忙にもかかわらず、秋場さんは、訪問した我々に、たいへん気さくに、にこやかに応対してくださいました。オフレコの話も含めて秋場家の歴史、ご自身の人生、日本酒の技術的、専門的なことまで話題は幅広く、興味が尽きない。由緒ある酒蔵といえども、今日、これを維持していくのは並大抵のことではないだろう。日々奮闘されておられる秋場さんに熱いエールを送りたい。

秋場貴子(あきば たかこ)

1974年(昭和49年)長生高校卒業

1978年(昭和53年)東京農業大学卒業

1982年(昭和57年)一宮町に戻る

1992年(平成4年)有限会社稲花酒造 第12代当主となり現在に到る

株式会社 竹りん

日本料理 仕出し料理 介護事業

代表取締役社長 新沢 敏夫 (昭和42年卒)

〒297-0024 千葉県茂原市八千代3-13-9

TEL 0475-24-5522

FAX 0475-24-8752

<http://www.chikurin.gr.jp>

e-mail honten@chikurin.gr.jp

同 窓 生 イン タ ビ ュ ー

楽しく生きる、 そのために、、、

なか 村 正 利 氏に聞く



中村正利さんは、千葉県を中心に串焼き店「串屋横丁」など居酒屋50店舗を展開するドリーマーズ株式会社の創業社長である。2019年10月16日、本社事務所の応接室で、編集委員の村上、篠崎、長谷川が、マレーシアへの釣りから先週帰ってきたところだという中村さんからお話を伺った。

——まずは生い立ちからお聞かせ頂けますか？

中村 私は茂原小学校、茂原中学校、長生高校と生まれも育ちも茂原です。実家は市内で精肉店を営んでいました。小さい頃から魚釣りが好きでしたので、長生高校では生物部に入りました。

——しかし大学には進まなかったのですよね

中村 実は高3の夏休みに、進路を決める決定的なことがありました。(と言って、古びた一冊の雑誌を持ってきて)この「Tarzan」という雑誌を読んでいたら、もと調理人で今はペンションのオーナーとして自然あふれる別荘地で悠々と暮らしている方の記事があり、自分も調理師免許を取っていずれはこうなりたいと強く思ったんです。当然のことながら、はじめは皆反対でした。しかし意外なことに当時の受け持ちの宮澤元雄先生が賛成してくれて、それで大反対していた両親の説得も何とかできましたね。それから大阪の調理師専門学校に入学し、調理師免許も取って卒業しました。

——そして実社会に踏み出しますが

中村 まず就職したのは東京西麻布のイタリアレストランでした。しかしその厨房の仕事はまさに徒弟奉公で、へたをすると頭に鍋が飛んでくるようなところでした。我慢しきれなくなり、1年でやめてしまいました。ちょうどその頃、多店舗展開を始めたドトールコーヒーについての書物を読んでいて、興味をそそられたので、思いきって中途採用に応募したら合格して、それから4年間勤めました。船橋工場に配属されて、生産管理を担当しましたが、自社農園を持ち、そこからとれる豆を自家焙煎し、高品質のコーヒーを安くお客さんに提供するという企業形態を学んだことが、後々自分のビジネスを展開する上でとても参考になっています。

——その後、起業を目指すことになりましたね

中村 資金稼ぎのために地元の住宅建設会社で歩合制セー

ルスマンを3年やって、1996年にIT企業を立ち上げました。その頃はウインドウズ95が発売されて、インターネットの勃興期でした。企業のホームページ作成などで順調に業績は伸びたのですが、5年後に経営が行き詰まり、32才で借金4000万円を抱えて事実上の倒産。結婚半年後のことでした。手形が落とせなくなる直前にサラ金で500万円借りて、従業員の退職金と当座の生活費は何とか確保しましたよ。

この失敗で、中村さんは改めて飲食業の良さを認識。貸金庫においてあった300万円を加盟金として払い、茂原で「養老乃滝」の居酒屋チェーン「一の酉」の経営者となって、再起を図る。死にものぐるいで頑張ると、他の加盟店の4倍近くの平均売り上げを稼ぎ、親会社を驚かせたという。串焼き屋でやれるぞという感触をつかむと、2003年に、いよいよ自分の店「串屋横丁」1号店を茂原市で開店。そこからまた必死で働き、何と4年間で借金を完済し、直営店が7店舗になっていた。

——串屋横丁の経営の秘訣は？

中村 一番の特徴は材料の新鮮なモツ肉などを本部で一括調達し、これを本社工場の最少の人数で機械も活用して串にさし、各店舗に自社配送車両で配達すること。こうすることで、店では仕込みの人件費を削減でき、接客に集中できます。進出する場所を選び、店舗開設の出店費用も節約しています。コストを下げた分、値段も下げたお客さんに喜んでもらうことで、リピートユーザーを増やすことになります。メニューも現時点で完成していると思っているので、できるだけ変えないようにしています。人気のスーパーホルモンロールは一串100gで130円。大ヒット商品です。ドトールコーヒーが昼間提供している、いいものを気軽に安く楽しめる空間を、私は夜の居酒屋で提供しているわけです。

——しかし、いい肉を安く仕入れるのは簡単じゃないでしょう

中村 うちの串焼きは9割以上が豚肉です。現在は東庄町の大きな養豚農家さんと供給契約を結んで、そこからでる内臓肉を全量引き取らせてもらうことで、毎日新鮮なものを比較的安く仕入れることができています。なんといってもモツ肉は新鮮さが命ですよ。当日午前中に仕入

れたものはその日に串刺しにされて、翌日には各店舗に配送されますから、旨いわけです。しかし、この牧場と取引させてもらうためには、オーナーをあの手この手で口説いて3年かかりましたね。



——自前で養豚もやっておられるとか

中村 全店での使用量の5%程ですが、自前の沖縄アグー豚を供給しています。趣味で飼っていた人が手放したいと聞き、引き取ったものです。白浜の野島崎灯台の裏山で、山野を囲って自然環境下で飼育し増やしていき7年目になりましたが、今は300頭ほど。将来は茂原周辺でもアグー豚の大規模農場を開きたいと思っています。

——現在の事業規模は？

中村 今は「串屋横丁」を中心に50店舗ほど。うち直営は20店舗くらい。残りはフランチャイズ店です。将来的には100店舗くらいにはしたいですが、今のシステムで回せることが前提なので、全国展開などは考えていません。また出店しても全てうまくいくとは限りません。これまで閉店したものが20店舗以上あるんです。しかし初期費用を抑えており、閉店の決断も早いので、それほどダメージを受けずにすんでいます。

うちの経営のもう一つの特徴はいわゆる人事評価などはしないこと。各店舗の店長は売り上げベースで報酬が決まります。頑張ればその分取り分が増える。年収1000万円を実現している人も多いです。そして、商売に徹底するためには無駄なことはやらないことが大事です。私の名刺には電話番号もメールアドレスも書いていないでしょう。誰からも連絡させない仕組みです。

オーナー育成のためにと、2015年からは「串屋横丁経営実践塾」を立ち上げて、毎月1回の講座を5年間の予定で継続しています。当社の社員や加盟店オーナーなどの希望者が対象で、共通の経営目標「10店舗出店、年間売り上げ6億円、経常利益1億円」を目指します。私の考えや行動、経験について、塾生の成功談やその背景、人材の獲得や育成など、経営に役立つ知識を共有化しています。

——趣味の釣りのリールもずいぶん集めておられるようですが

中村 スウェーデンのアブ・ガルシア社のリールを中心に



1000台ほど持っています。リール集めは高校生の時からの趣味なんです。それで、茂原にリール博物館を開設しようと、着々と準備しています。すでに展示用の物件も押さえてあります。手始めに65坪ほどの場所で始めて、ゆくゆくはもっと広い場所に全てのリールを飾って、カフェレストランなども併設した日本初のフィッシング博物館としたいと思い、関係者にPRを開始しました。外国人観光客もよべるような、房総観光の拠点となるようなところにして、自慢のアグー豚の加工品も提供します。ビジネス的にも成り立つように考えています。



とにかく元気のいいお方でした。これまでの生き方、串焼き屋経営の秘訣、趣味のリール収集と話が止まりません。対談が終了して席を立ってから、工場に併設した極真空手の道場と、友達と作り上げた、プロ用機器が揃うトレーニングスペースまでご案内頂いて、元気の源の一つはこの体力作りと友達付き合いだと感じました。50才過ぎたのでセミリタイアして、好きな釣りのため海外にも頻繁に出かけているとか。これからもあふれるパワーで周囲の人を幸せにして、人生を楽しんで下さい。

中村正利 (なかむら まさとし)

1987年(昭和62年) 長生高校卒業

1988年 大阪辻調理師専門学校卒業

2003年 ドリーマーズ株式会社設立 代表取締役として現在に至る

最首会計事務所

税理士 最首 利光 (昭和42年卒)

TOSHIMITSU SAISHU
CERTIFIED PUBLIC TAX ACCOUNTANT

〒297-0024 千葉県茂原市八千代2-6-14
TEL:0475-20-3561(代) FAX:0475-20-3562
E-mail:info@saista.jp

特集 農に生きる

ハウス栽培で トマトづくり60年余

あい ただお
相 忠男 (昭和31年卒)



相忠男さんは、一宮町東浪見(とらみ)でトマト、キュウリなどの野菜づくり一筋、長高卒業以来だからもう60数年になる。2019年11月、編集委員の村上と小守が、トマト、キュウリ、スナップエンドウの苗が育つ、相さんのビニールハウスにお邪魔して、ひょうひょうと、時にユーモラスに語る相さんのお話を楽しく伺った。

相さんは、昭和12年にこの東浪見で4人兄弟姉妹の長男として生まれた。幼い頃、父は戦場に行っており甘えて育った記憶は無いという。終戦後苦勞をして復員してきた父が、父祖の代からの農業に従事し、まずは米、麦と桃などをつくっていた。当時は各農家で耕耘用に牛を飼っていた時代だ。昭和28年頃、ビニール素材を使ったハウス園芸を千葉大と素材開発元の米国モンサント社が共同で、東浪見地区に導入すると、これを取り入れて、現在まで続く施設園芸が始まった。

相さん自身は、東浪見中学校を卒業し、長生高校に進学した。長高への進学者はクラス50名中5名だったという。「農家だったけど、農業高校ではなく普通高校に進学させてもらったのは、後々自分にとって非常に良かったね。」と。いまでもその頃と同級生といろいろな形でお付き合いが続いており、様々な業界、組織で働く友人の話を聞くことはとても面白く、勉強になるようだ。実際、インタビューの際にも、専門の農業の話はもちろん、世界経済や歴史のことまで、話題が豊富で、好奇心、向学心の強さを感じさせられた。

相さんは、長高卒業後両親を手伝うために農業の道に進む。父が夢だった新しい家を見て、経済的に家庭を手助けすることが必要だったからとのこと。しかし、普通高校を出た相さんに農業の専門知識は無く、父から指導してもらうとはいえ、手探り状態。そこで助けになったのは、当時農業技術の普及、向上を目指して農村で活動していた4Hクラブだった。千葉県の職員などが指導に当たり農業に携わる青年を養成する組織。地域の仲間の若者達と意見、ノウハウの交換もでき、米作りもしながら施設園芸でのトマトづくりに突き進む。面白いことに、「わたしの父親はトマト作りをしていたけれど、食べるのは大嫌いさ。でも、嫁さんはトマトが大好きだからと、東京からここに嫁いできてくれて、これまで一緒によく手伝ってくれているよ。」とのこと。昭和30年代の最盛期には、東浪見地区の70軒あまりがハウス栽培をするようになった。その頃には東浪見

はトマトの主要産地となり、築地を始め多くの市場に出荷されるまでに。ハウス栽培が軌道に乗り、品評会での受賞も重ね、三人の息子も全て大学まで出すことができた。

ハウス栽培の面白さを伺うと、「例えばトマトは年に3回は植え付け収穫ができる。キュウリや葉物は4回転。1年のうちにくり返し作物の生長を見られることが楽しいね。それにトマトの苗は、毎朝表情が違うんだよ。水をほしいと言っているのか、肥料が足りないと言っているのか、それとも暑いのか、寒いのか、これまでの経験でわかるようになってきた。」ハウスの中を最適な状態に保つためには、気候に絶えず気を使い、夏期は換気、冬期は暖房をこまめに調節する。まわりの田んぼに水が張られると、注水量を少なくしたりも。また、世の中で新しい品種が評判になると、これを試しに植えてみるが、新しい栽培のノウハウも学ばねばならない。順調なことばかりではない。台風でハウスがつぶされたり、大水でハウスが浸水し苗が全滅したことも。

今も夫婦二人だけで農業を続けているが、体力の衰えもあり、3棟あったハウスも150坪の1棟だけにしてその半分ほどの広さに、トマト、キュウリなどを植えている。「作物を育てるのは楽しいから、面白く生きるためにも、続けているよ。相さんのトマトがほしいと、近所の知り合いや友達も来てくれるしね。」と、長高昭和31年卒の仲間が訪ねて来てくれた時に、ハウス内で撮った記念写真も見せていただいた。トマト栽培を語るときの、きらきら輝く目には、まだまだ力がこもっている。これからも良い作物を作り続けて頂けることだろう。



長高同期の仲間と
左から、小川英夫、相忠男、浅野和夫、麻生喜義の皆さん

特集 農に生きる

無農薬・無肥料 という選択



つるぶち しんいち
鶴渕 真一 (平成9年卒)



鶴渕真一さんは、いすみ市深谷地区で米作りをする若き米作り専業農家である。2018年に長生高校の天夢塾で、農業に従事する自身の生き方について印象に残る講義をされた。2019年11月、稲作作業も一段落した頃、編集委員の村上と小守がご自宅を訪問し、さらに詳しくお話を伺うこととした。

鶴渕さんのご実家はいすみ市であるが、実は農業とは縁がなかった。祖父の代から建設関係の仕事をしており、自身は地元の国吉小学校、国吉中学校を経て、長生高校に進学した。長生高校時代は3年間野球部に所属し、毎日遅くまで練習に励んだ。長高まで16-17kmの道のりを1時間かけてもっぱら自転車で通ったという。

大学では土木工学、都市計画を専攻し、千葉県の住宅建設会社に就職した。会社では主に営業を担当したが、3年間勤務後に退社。これを契機にピースボートによる100日間の地球一周の旅に出た。鶴渕さんは、この旅でスローフード、フェアトレード、多様性の力などを学び、後日環境について深く考えるきっかけにもなる。帰国後に自転車で日本縦断の旅。その後、アルバイトをしながら、心身共に自分を鍛えようと本気で合気道を学び始めた。合気道養神館に5~6年在籍し、最後の2年間ほどは指導者として3カ所を掛け持ちして教えていたこともあった。しかし、2011年の東日本大震災で当時生活していた浦安エリアが被害を受け、お父さんがその半年前に急死していたこともあり、故郷のいすみ市に戻ってきた。

いすみ市に戻って来る前から関心を持っていた自給自足。自然の豊かさを認識すれば自分は競争から離れてもっと自由に生きられるはずではないか、と常々考えており、それを実践する手段が自給自足だった。営農場所を探し、県内に限らず様々な場所を探したが、結局最終的に決めたのは故郷だった。ミネラル分の豊富な重粘土質の土地からは味の良い米がとれる。いすみ市は市を挙げて有機、無農薬栽培を奨励しており、小中学校の給食に無農薬米を使用している。

はじめに借りることができたのは15年近くも放置されていた広さ3~4反歩の休耕田だった。3mもの葦が茂り雑木まである土地を田んぼに戻すのは並大抵の仕事ではなかっただろう。その後、市の農業者登録を受けるために1町歩まで広げ、中古の農機具も入手した。「はじめから無

農薬で取り組みました。まず農薬を使って、それを徐々に減らして無農薬にするのはかえって難しいと思いました。経営的に考えても、慣行栽培での稲作新規就農は投資の大きさや拡大のスピードを考えても難しかったです。」

この農法の基礎となる考え方は、千葉県出身の岩澤信夫さん(1932-2012)が「日本不耕起栽培普及会」を立ち上げて推進してきたものだという。詳細は、著書「究極の田んぼ」に記載されており、鶴渕さんも岩澤さんが主催していた塾に参加し学んだ。「この土地は粘土質が強く不耕起というわけにはいきませんが、田んぼの中の微生物や日光などの自然の力を活用すれば毎年米を収穫しても地味がやせ細るということはないようです。無農薬だからこそ自然の力が活用できるんだと思います。自然の力で育った稲は、今年の台風にも倒れませんでした。」

田んぼを始めて丸6年目となる今では5.7町歩まで耕作地を広げて、コシヒカリ以外にも品種を広げ、「ササシグレ、カメノオなどは多肥料農法などとの相性が良くなく廃れていきましたが、無肥料であればそれ自身の力を発揮できて美味しい米がとれます」とのこと。鶴渕さんは主にインターネットを通じて、その価値を認めてくれる人にお米を販売している。「この方法がなければ経営が成り立ちませんし、さらに付加価値をつけるために、日本酒、みりん、せんべい、さらには玄米糍ジャムというものも開発しました。もちろん最終製品の加工は自分ではできないので、パートナーを探します。日本酒は地元の木戸泉酒造と共同で、玄米糍ジャムは千葉大の学生たちと一緒に開発プロジェクトを行いました。」

就農から5年までの新規就農者支援も終了し、これからがいよいよ正念場だと話す鶴渕さん。持続可能で自然と共生できる農業を目指して奥さんと二人で奮闘は続く。交流と支援の輪が広がることを祈りたい。コンタクトの際は、「つるかめ農園」で検索を。





英国紅茶と50年

あき ば よし あき
秋 葉 吉 秋 (昭和44年卒)

英国は紅茶のパッカー（製品製造者）としてだけでなくブレンダーとしても世界一の国である。日本で売られている有名な銘柄の多くが英国のものだ。しかし英国は農産物として茶葉をほとんど生産していない。英国の南部にあるロンドンでさえも北緯51度30分にある。それは樺太のまん中の位置になる。このため茶葉の多くを英連邦加盟国から輸入をしている。もともと紅茶の原産地は中国だが、いま世界各地で生産されているインドのアッサム種紅茶を世に出したのは英国人だ。かくして紅茶はかつて世界の海を制した大英帝国の生活文化に深く根ざして行く。いまや紅茶は世界120カ国以上で飲まれている。水の次に飲まれている飲料は紅茶なのだ。

私は1970年に都内の大学に入学する。都電で通学するため雑司ヶ谷の都電の駅の近くに下宿。そこは5大学7人の学生が住人。夜になると名古屋出身の三木さん兄弟が淹れる紅茶を愉しみ、毎日のように談論風発。紅茶の出発はこの時からだ。翌年の1971年に紅茶は自由化をむかえる。一気に英国ブランドの紅茶が日本市場に流れ込んでくる。我々はあれこれ飲み比べていく中で紅茶の奥行きと幅を実感していく。

1972年私はロンドンに向かう。とにかく行って見たくなったのだ。伝手はない。リュックサックを背負い、横浜から船でソビエトのナホトカへ。シベリア鉄道と飛行機を乗り継ぎ、モスクワを経てフィンランドに。北欧4か国を廻り、ついにロンドンに着く。それからは下宿（フラット）や街なかでのティー・ウィズ・ミルク三昧の日々。英国に居る間、レモンを紅茶に入れるということは一度も無かった。紅茶とはミルクを入れて飲むものなのだ。ミルクを先にカップに入れ、あとから熱い紅茶を注ぐミルク・イン・ファースト。ロンドンのあちこちで飲む8ペンスのトラディショナルティーが体に染み込ん

でいく。まさに病膏肓に入る。

そして1973年今度はロンドンから日本へ向かう。帰り路は中欧、南欧、トルコ、エジプトを経てインドに到着。またまた紅茶三昧の日々。ネパールのカトマンズ、ヒマラヤの麓にも足を延ばす。そしてついには紅茶の大聖地ダージリンに到る。インド北東部の高地にある「かの地ダージリン」で「ダージリン紅茶」を飲む至高の時を過ごす。もう飲み尽くしたのだ。旅は終わりをむかえ、カルカッタを経て日本に帰国する。しばらくして、ダージリンで買い付けた紅茶が木箱に入って送られてくる。箱の中は立方体状の紙包に入った茶葉がぎっしり詰まっていた。ふつうにはとても一人で飲める茶葉の量ではない。しかし英国人の様に朝から夜まで飲み続け、英国人なみのティーホリックに陥ってしまう。

爾来50年。紅茶への熱はオンとオフを繰り返すが今はサーモスタットが作動を忘れていて。高熱だ。英国人はひとりあたり年間2kg（1,000杯）の茶葉を使う。私はゆうにそれを超えるペースで今日も熱い紅茶にミルクを入れる。まさにひとり至福の時を愉しんでいる。時にはコールドブリューで。



いすみ市出身 (株) 秋葉商店 取締役会長
茂原商工会議所会頭
茂原卸商業団地協同組合理事長

世界に医療機器の適正使用を普及・啓発します!

一般財団法人 臨床工学国際推進財団
Clinical Engineering Global Promotion Foundation

理事長 川崎 忠行 (昭和45年卒)

【事務局】 〒113-0034 東京都文京区湯島1丁目3-4
KTお茶の水聖橋ビル5F (公社) 日本臨床工学技士会内
TEL : 03-3868-3112 FAX : 03-5805-2597

前田記念腎研究所茂原クリニック 前田記念大原クリニック
〒297-0033 千葉県茂原市大芝114-1 〒297-0033 千葉県いすみ市大原1937-2
TEL : 0475-25-8881 TEL : 0470-60-4800
E-mail: QYJ01170@nifty.ne.jp

URL <http://sanyou.sakura.ne.jp/>
測量・地籍調査・土木設計・補償・登記

株式会社 **三陽測量設計**

取締役会長 古山 弘 (昭和45年卒)
代表取締役 古山 和弘 (平成8年卒)

(社)千葉県測量設計業協会会員 千葉県補償コンサルタント協議会会員
(社)日本国土調査測量協会会員 公共嘱託登記土地家屋調査士協会会員

本 社 〒299-4415 千葉県長生郡睦沢町小滝475番地1
TEL0475(44)1869 FAX0475(44)1959
八街営業所 〒289-1113 千葉県八街市八街へ199番地1509
TEL043(497)2807 FAX050(3153)1280



沖縄は、面白い

つか はら まさ とし
塚 原 正 俊 (昭和62年卒)

最南端の県、沖縄

沖縄に住んで、もうすぐ16年。沖縄で生活していると、地図上で仕切り線を隔てて違う場所に配置されていたり、県内ニュースが全国ではとても小さい扱いだったりと、日本の中心からかなり距離があることを日常的に実感させられる。一方、沖縄は単に「最南端の県」とどまらずたくさんの「面白さ」がある。何より、今回の執筆のご依頼も「沖縄?面白そう」と思っていただけだからに違いないし、実際に沖縄に住んでいると確かに「面白い」ことにいろいろ出会える。これは沖縄で仕事や生活を送る上での大きな原動力となっている。

琉球泡盛をはじめとした地域素材

当方は、生物学や分析化学を中心とした研究開発を生業としてきた。沖縄に移ってからは、県内の研究機関に所属し、地域の特産品を対象とした研究開発に取り組んだ。最初の研究対象は、日本最古の蒸留酒「泡盛」だ。



幸い、生まれながらの酒好きだったことに加え、泡盛の研究開発では科学的な取り組みが少なかったことから、新たな泡盛銘柄を商品化するなど幾ばくかの成果を挙げることができた。泡盛研究はとても奥が深く、当方のライフワークとなっている。

泡盛以外にも、知る人ぞ知る発酵食品「豆腐よう」、日本一の生産量「もずく」、沖縄の島野菜「しまなー(からし菜)」など、沖縄ならではの食素材を対象とした研究開発に取り組んできた。変わったところでは、環境に

優しいコンクリートの開発、沖縄に生息する牡蠣の養殖による地域振興などにも手を出している。内地(沖縄県外をそう呼ぶ)から沖縄にやってきた一研究者がこれほど多くの個性的な素材に携われるのだから沖縄が「面白い」のは間違いない。

「起業」という実験

人生何が起こるかかわからない。6年半勤めた沖縄の研究機関が解散し解雇となった。この時ばかりはさすがに面白くなかった。かといって悲壮感が漂っていたわけでもなく、結局選んだ道は、沖縄の個性的な素材をネタに「起業という実験」に挑むことであった。すぐに、研究開発型のベンチャー企業(株)バイオジェットを創業した。以来約9年間、地域特産品の研究開発を中心に、遺伝子解析や分析評価など先端技術をツールとし、企業や大学支援、地域振興を軸とした業務に取り組んでいる。

さらに最近では、沖縄関係の研究開発以外に、県外での対応依頼が増えてきた。さしずめ、「沖縄で少しでもよければ県外でもやってみなさい」と言われているかのようである。未だ道半ばではあるものの、沖縄での取り組みをモデルとして様々な地域に貢献しうる可能性を強く感じている。

沖縄の様々な素材は確かに個性的だ。ただ、これらが本当に「面白いもの」となるには多くの「面白い方々」の関わりが不可欠だと思う。実際、個性的な方々に囲まれた取り組みほど成果が出ていると感じる。さらに、直接の関係者のみならず、周辺あるいは遠方の方々に「面白い!」と感じてもらえることは、何よりのパワーとなり、ありがたい。

皆様にも、これからの沖縄に是非注目していただきたい。

※本執筆後に首里城消失という悲劇が起きた。沖縄の象徴を失うという事態に、皆様には沖縄県民に少しでも心を寄せていただければ幸いである。

(株)バイオジェット 代表取締役CEO

農林水産省産学連携コーディネーター、うるま市観光物産協会理事、琉球大学非常勤講師、沖縄県酒造協同組合酒質審査委員など兼務。

茂原市出身。千葉大学理学部生物学科卒、広島大学大学院理学研究科修士課程修了。(財)神奈川科学技術アカデミー、明治乳業(株)、沖縄県の第3セクター研究機関を経て、2011年に(株)バイオジェット創業。「先端研究はもっと一般社会で役立つはず」を信条として新たな研究開発やコンサルティング、地域振興に挑戦している。

化学プラント保全のエキスパート
機器据付・配管工事・仕上工事・旋盤加工
千葉県知事許可(般-28)第32560号

東葉工業株式会社

代表取締役 仁茂田 弘 (昭和46年卒)

〒297-0024 茂原市八千代1-17-14
TEL 0475(23)1964
FAX 0475(24)9208

同窓生の集うところ

大和屋旅館

代表取締役 足立 俊夫 (昭和46年卒)

〒297-0026 茂原市茂原519
TEL (0475)24-1185(代)



私たちは何歳まで 働くのか

かざとまみ
風戸真美 (昭和63年卒)

新卒で今の会社に入社してから約30年が経ちました。運にも恵まれ、現在も忙しく健康に働けてはいるものの、何か漠然とした不安を感じて、自分はいったいつまで働くのか、どんな風に生きていくのか、ということをご数年よく考えるようになりました。

私は求人情報を提供する会社で働いています。毎週、全国で約90万件の求人広告をネットやフリーペーパーで送り出しています。私の仕事は、法令や広告の基準に照らして、掲載いただける会社かどうかを審査することです。広告を見て、実際に企業へ応募した読者から寄せられる苦情や相談も貴重な情報で、「給料が広告の情報と違う」「社会保険に加入させてくれない」など内容は様々ですが、最近は「年齢を理由に断られた」という60・70代からの相談が増加しており、まだまだお元気で現役を過ごしていらっしゃる方々の就業意欲の高さには頭の下がる思いがあります。

私が今充実感を持って働いている理由の一つには、10年ほど前のある出来事があります。リーマンショックです。私の会社でも、従業員のリストラがありました。周りの同僚たちが会社を去っていく、そんな姿を目の当たりにした初めての出来事でした。私自身も解雇される可能性にさらされ、大きな恐怖を感じました。当時はアメリカやヨーロッパでも大企業や自治体が大規模なリストラを行い、解雇されたショックや将来への悲観から自殺者さえも出ているとの報道も目にしました。国や人種に関わらず、働くことには「収入」や「やりがい」以上の意味があるのだと初めて肌感覚で理解しました。そして、人が自分に合った仕事を見つけ・選択することに貢献できる自分の仕事に、この時強く誇りを感じる事ができたのです。

昨年6月に、天夢塾で長高の後輩たちに「働く」を

テーマに講義をする機会をいただいたのですが、その際に「将来なりたい仕事や職業を決めている人は？」と生徒たちに質問をしたところ、クラスの10名前後がさっと手を挙げてくれ大変驚きました。何人かはその職業を選んだ理由も語ってくれたのですが、将来のことなど全く考えていなかった自分の高校時代とのあまりの違いに、感動すら覚えてしまいました。後で校長先生にお伺いしたところ、現在は高校1年の4月からキャリア教育のプログラムが組まれており、大学の先にある「仕事」や「職業」をまず捉えた上で進むべき大学を選択できるよう、生徒たちが考える機会を早くから作っているとのこと。後輩たちの選択に幸あれと心から祈ります。

さて、私の計画です。まだぼんやりとしています。70歳までは働こうかと考えています。「えーそんなに働きたくないよ!」という友人も多いのですが、社会や誰かの役に立ちながら、セットで収入も得られるなんて、すてきななあと思うのです。勝手な妄想も含め、やってみたい仕事もいくつかあります。これまでの仕事の経験を活かしたキャリアコンサルタント関連の仕事。全く畑違いの仕事として、お気に入りの銀座のうなぎ屋さんの店員、庭師のお仕事にも昔から憧れがありますし、ここ数年はまっている茶道の文化を世界に広げるような仕事もしてみたいと考えています。会社も副業をOKとしていますので、働きながら小さな起業をすることも選択肢の一つです。

私の祖父は千葉高校卒業後に実家の建設会社を継ぎ、祖母は師範学校卒業後に教員となりました。二人がどうしてその仕事を選んだのか、もう話しを聞くことはできませんが、実家でかろうじて健在の両親には、今後の参考として、帰省した際に聞いてみたいと思っています。両親も長高卒業生。昔から続けている趣味(父は囲碁、母は花)がどちらもなかなかの腕前で、生きがいのひとつになっているようですが、仕事をリタイアした後を20年近く生きてみてどう感じているのかも聞いてみようかと思っています。

みなさんは、何歳まで働きますか？

長南町出身 1990年(株)リクルートジョブズ入社 人事・営業・広報・経理を経て取引先企業審査に携る。
米CCE,Inc.認定GCDF-Japan キャリアカウンセラー

齊藤法律事務所

弁護士 齊藤 友嘉 (昭和47年卒)

〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-5
共同ビル401号室

TEL 03-3543-1341

FAX 03-3543-1343

E-mail: t.saito@honey.ocn.ne.jp

URL <http://www.saito-law-office.com>

ENASA[®]

代表取締役 波多野 耀市
(昭和47年卒)

株式会社 エナザ・インターナショナル

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-21-20 エナザビル

TEL.(03)5413-1000 FAX.(03)5413-1001

千葉支店 〒298-0004 千葉県いすみ市大原7650-5

TEL.(0470)60-1000 FAX.(0470)60-1001

E-mail: info@enasa.net

「学芸員はがん」 から考える

い だ な お き
飯 田 直 樹 (平成元年卒)



3年ほど前だったか、ある大臣が「一番のがんは文化学芸員と言われる人たちだ。観光マインドが全くない。一掃しなければ駄目だ」という発言をした。多くのメディアで取り上げられたからご記憶の方もいらっしゃると思う。

誰でも自分の職業が「がん」と言われればいい気持ちはしない。博物館で学芸員をしている私もこの発言を知ったとき、あきれると同時に世間で学芸員という職業についての理解が十分でないという感想を持ったものである。今の時点で冷静になってこの発言を振り返ると、一番問題だったのは、自分が「がん」と考える存在を社会から一掃しなければならないという発想そのものではなかったか。

高校卒業後、私が大学・大学院で歴史学を学んできたなかで一番重要だと考える歴史についての考え方というのは、歴史は過去に生きた全ての人、一人一人が作り、積み上げてきたものであるというものである。この一人一人のなかには、大河ドラマの主人公になるような著名人や「偉人」、「英雄」だけでなく、名前の残らない一般の民衆も入る。おこがましいけれども、「がん」と言われた学芸員の私も、そして皆さんも、ドラマにはならないかもしれないが、歴史の「主人公」なのである。これは、大げさに言えば憲法の国民主権という普遍的価値に通じる考え方である。だから、たとえ「がん」であろうともそれを社会から一掃しようと主張する大臣の発言は、憲法の理念に反するものである。

多くの国民が、国の主人公であると自覚した出来事といえば、1918年の米騒動がその最初のものであろう。この事件の後、その責任を取って「ビリケン(非立憲)宰相」寺内正毅が辞任し、「平民宰相」(原敬)が誕生した。一昨年(2018年)は米騒動発生からちょうど100周年という記念すべき年であったが、全国の博物館・資料館で米

騒動を展覧会としてとりあげたのは、私の勤務する博物館も含めて数えるほどしかなかった。これは現政府が「明治150年キャンペーン」を行い、多くの博物館・資料館がそれに追随したからである。歴史学関係の諸学会においても、それを批判する動きは、1968年の「明治100年祭」の時と比べれば低調だったように思われる。それによって国民は、明治の元勳の「偉業」をふんだんに見させられる代わりに、国民自らの力によって時の政府を倒したという「輝かしい歴史」を学ぶ機会を奪われたのである。

私の職場では、私が担当して特別展「大阪の米騒動と方面委員の誕生」という展覧会を開催した。方面委員とは、現在の民生委員の前身にあたるものである。大阪では米騒動の後にボランティアで生活困窮者を救済する方面委員が設置されたのである。

私は、様々な史料所蔵機関や社会福祉法人を調査し、米騒動や方面委員関係の史料を可能な限り展示・紹介した。そのなかには、方面委員が活動のために使用していた『方面委員手帳』のような、生活に困窮する庶民の暮らしぶりが生々しく記録されている史料もあった。そのような史料には、生活困窮者の情報が、具体的には、氏名、職業、居住地、収入などがはっきりと記されている。私は、個人情報やプライバシーの問題があるとは知りながら、あえてそれらの情報を伏せず史料を展示した。個人名などを伏せて展示することは、そのような生活困窮者一人一人も歴史の「主人公」であるという歴史観、さらに言えば国民主権という理念そのものを否定することになると考えたからである。

全てのものを金儲けの手段としようとする新自由主義が勢いを増すなかで、現在の博物館には観光資源となることが求められている。大臣の発言や「明治150年キャンペーン」もこの動きのなかでなされたものであり、大臣は、そのような動きに反する学芸員の存在を「がん」と呼んだのである。博物館の現場では観光資源化か否かで日々せめぎ合いが起きているが、どちらが正しいのか、それこそ「主人公」である皆さんに判断してもらわなければならない。

東金市出身

1993年に大阪市立大学文学部史学地理学科卒業後、大阪市立大学大学院文学研究科に進学。2001年に大阪歴史博物館学芸員となる。

喜んでいただけることが、私達の喜びです。

内装工事 建 創
有限会社

取締役 渡 辺 富 夫 (昭和47年卒)

鋼製内装下地・ボード工事・他内装工事一式

千葉県いすみ市岬町江場土 4277 TEL 0470-87-8201
FAX 0470-87-8202

カナエ
株式会社 鼎設計事務所

取締役 石渡 正信
会長 一級建築士 (昭和48年卒)

(本社)

〒260-0018 千葉県中央区院内1丁目11番5号
TEL 043(222)3151
FAX 043(222)3022
E-mail ekanae@f4.dion.ne.jp



ミツバチと人間と

せき たか し
関 高 史 (平成5年卒)

現代の日本において、家畜を放し飼いにしている人達が、日本中にいると聞いたら、驚くのではないのでしょうか？ただし家畜と言っても、牛や豚の話ではありません。ミツバチの話です。ミツバチを飼う職業、養蜂家については、存在は知られていても、その実態はあまり知られていません。そこで、私がどうして、養蜂業にたどりつき、何をしているのかについて、少しだけご紹介したいと思います。

今、私の住む場所は、オホーツク海に面した北海道網走市の郊外、広大な畑と森、湖の広がる北海道のイメージそのままの環境です。今では、網走在住の養蜂家、を名乗っている私ですが、もちろん高校時代は長生高校で過ごしました。子供の頃から自然や生き物は大好きで、大学で生物学を専攻し、そこで同じ自然好き、生き物好きな仲間と出会えたことで、自分の世界を広げることができたように思います。大学を出る頃は、ちょうど就職氷河期といわれた時代で、就職活動をして、さっぱり手ごたえがなく、さすがに焦りました。そこで初めて、奥の手として、それまで単なる趣味として割り切っていた自然関係の知識を、仕事に生かすことにして、なんとか新潟で1年、さらに、北海道の知床国立公園の自然ガイドへと、職をつなぐことができました。

今では世界自然遺産になった知床は、素晴らしい場所です。ヒグマが歩き、流水が海を覆う。その圧倒的な自然の変化には驚かされるばかりでした。そうした自然の情報を、楽しく、わかりやすい言葉にして、来訪者、観光客に案内するのですが、その中で、ある意味、ヒグマより衝撃的な存在と出会いました。知床の漁師です。日々、命がけて知床の自然と向き合っている彼らです。ひとたび「知床の自然てのはよお。」と語り出したときの迫力、説得力は半端なものではありません。それはも

う、猛烈にカッコいいのです。

だからといって、漁師になるにはハードルが高すぎます。そこで出会ったのが養蜂です。自然からのメッセージを言葉で伝えるのではなく、はちみつを通して、自然を味わってもらいたい、と思ったのが、今の仕事の原点といえます。

さて、養蜂家は、その実態が謎に包まれた職業かもしれせん。それは、私たちが、なるべく人目につきにくい場所に、ミツバチの巣箱を置いているせいもあります。なにしろ、ただ虫というだけで嫌われる風潮の昨今、ミツバチは機嫌が悪いと刺しますし、刺されると飛び上がるほど痛いので、あまり人通りが多い場所ではできないのです。では、人目を忍んで養蜂家は何をしているのか、その本質は、「ミツバチを次の世代へと引き継いでいる」のだと考えています。

ミツバチと人間が関わり始めたのは、はるか昔、以来、人間はミツバチのお世話になっています。甘いはちみつに限らず、多くの作物の受粉などは、ミツバチがいなければ成り立たないとされています。しかし、働き蜂の寿命は1カ月、女王蜂ですら2、3年の寿命です。そうしたミツバチの世代交代を見守り、世話を焼く人が、養蜂家と呼ばれる仕事なわけですね。今、私の手元にいるミツバチが、過去からどれだけの養蜂家のもとで世代交代をつないできたのか、ちょっと想像が付きません。

残念なことに、経済優先で進む今の人間社会は、ミツバチにとって、よいとはいいかねる状況です。毎年の天気は極端になり、大きな嵐がいつ来るか分かりません。農薬も、高度な社会システムを築くミツバチには脅威です。とはいえ、ミツバチ達が気持ちよく花をまわれるように、いつまでもヒトとミツバチの協力関係が続けられるように、北海道の野山の端っこで、今日も仕事をしています。



勝浦市出身 筑波大学生物学類卒業
2000年から知床財団に自然ガイドとして勤務
2009年より関養蜂場を開業

お客様の信頼のパートナーを目指します
有限会社 トラスト保険センター

桑田 光人 (昭和49年卒)

加藤 英樹 (平成9年卒)

東京海上日動火災保険株式会社 代理店
東京海上日動あんしん生命保険株式会社 代理店

〒299-4333 千葉県長生郡長生村七井土1476-1
フリーダイヤル 0120-000-398 E-mail trust-k@mbr.nifty.com

汚水処理施設・浄化槽維持管理
飲料水貯水槽清掃、浄化槽設置工事
各種一般・業務用水質検査代行

有限会社
水のシー・クリアー

代表取締役 佐川 祐 (昭和49年卒)

大原管理センター:〒298-0004 千葉県いすみ市大原9540-1
TEL (0470)60-9901 FAX(0470)60-9902



部活訪問

美術部

絵に向きあい、自分に向きあう

編集委員 高橋陽子(昭和52年卒)

皆さんは、最近母校を訪れたことはありますか。クラス棟から2階に上がり更に奥の校舎に続く長い廊下を進むと、そこは美術館かと思うほど壁面や階段が油絵で埋め尽くされています。2019年12月2日に村上編集長と私は、部活動インタビューのために美術室を訪ねました。11月の県の美術展が終わった後で、ゆったりとした雰囲気の中、顧問の稲邑嘉裕先生と部長の君塚梨々乃さん、そして部活動中の多くの皆さんにお話を伺いました。

——部員は何名ですか、また活動はどのようにしていますか。

現在3年生6人、2年生6人、1年生6人の合計18人です。活動は、平日午後4時から6時までですが、美術展などの前は土日制作しています。

——主な展示会や発表の場などは、何がありますか。

先ず7月に長生高校の文化祭があります。また11月には「千葉県高等学校総合文化祭 美術・工芸作品展」という展示会があり、ここで作品が選ばれれば全国大会に進むことになります。1月には茂原市内の高校美術展もあり、年間3回の発表の場があるわけです。

——美術部に入部するきっかけはなんでしたか。

人それぞれですが、学校見学の時に美術部を知り、部活をやりたくて長生を受験したという部員もいます。また、家族からイラスト入りのメッセージカードを頻繁にもらっていた経験から絵を描くことが好きになり、入部したという部員もいます。

——絵を描いていて苦労した点はどこですか。

1年間に3作品を仕上げるのですが、入部して最初は小さな静物画に取り組むことになっています。新入部員にとって、油絵自体が初めてなので絵具の重ねが不足することが多く、上手く描けません。しかし、本当に難しいのはそこではありません。2作目以降からは、各々好きなテーマを探すところから始めなくてはなりません。何を描きたいのか、どう表現したいのかを作品毎に模索することになります。楽しく描いていた時間が嘘のように、何をすれば良いのかすらわからなくなってしまいます。こういう「壁に突き当たってしまう」ことは、殆どの部員が経験していると思います。このとき、試行錯誤を繰り返しながら考え続け描き続けていくと、思いがけず良い方法に気付いたりして、「壁」を乗り越えることが出来たりします。すると、面白いようにまた描けるようになってきて、それが楽しくて楽しくて、つい時間を忘れるほどです。

——部活をやって良かったことは何ですか。

気持ちが沈んでいても部活に来ると元気になります。日常生活には良い影響があります。何よりも、自己肯定感が強められ、絵だけでなく性格も変わりました。自分の人間性に自信が持てるようになり、物事の見方も変わりました。また、内向的な部員も、多くの人と話せるようになったりして、「根っこから」人間として成長できたと話していました。勿論、美術のことを考えていると日常の中で美しいもの、素晴らしいものに気付いたりすることが多くなり、毎日がより楽しくなりました。

——今後大きなイベントがあるそうですが、それはいつどこで行われますか。

2020年4月25日からの約2ヶ月間、いすみ市郷土資料館(田園の美術館)にて長生高校美術部作品展が開催されます。現在、そのための作品作りに取り組んでいるところです。普通の作品展は他校と合同で1週間ほど開催されることが多いのですが、この作品展は長生高校単独で2か月間の開催期間があります。こんな貴重なチャンスはありませんので、是非足を運んでいただければと思います。



私はインタビューの間、不思議なほど居心地が良くずっと話を聞いていたい気持ちになりました。この雰囲気を作り出したのはやはり「稲邑マジック」だと確信しました。美術部の顧問の稲邑先生によると「自分の一番大切な仕事は、生徒たちの心を開かせること」だそうです。最初のころは、美術室のイーゼルに自分の描きかけの絵がかかっているのが恥ずかしくて人には見せたくない生徒ばかりだといいますが、時間が経つと皆変わるそうです。そして、「自分自身の中に無いものを育てなければいけないのは大変ですが、とても大事なことです。今生徒たちは、以前とは違う成長した自分となって絵を描いています。私の仕事は生徒が自分自身でいられるように見守ることです」とのことでした。

自己肯定感を強く持つこと、これこそが「稲邑マジック」の本質であり、生きていくパワーの源として生徒たちのこれからの人生を動かしていく原動力となるものだと感じました。これからも美術部から目が離せませんね。

平成31(2019)年度入試 大学等合格者数一覽

平成31(2019)年4月8日現在

国立大学

大学名	学部	現役	浪人	計
北海道大学	経済	1	0	1
北海道教育大学釧路	教育	1	0	1
弘前大学	教育	1	0	1
東北大学	経済	1	3	7
	教育	0		
	理	3		
	工	0		
秋田大学	国際資源	1	0	1
山形大学	理	1	0	2
	医	1		
福島大学	理工	1	0	1
茨城大学	教育	1	0	5
	理	1		
	工	3		
筑波大学	情報	1	0	1
埼玉大学	経済	1	1	4
	理	1		
	工	1		
千葉大学	文	2	0	21
	法政経	5		
	教育	7		
	国際教養	1		
	理	2		
	工	4		
東京海洋大学	海洋資源環境	2	0	2
電気通信大学	情報理工	1	0	1
東京大学	理二	0	1	1
東京工業大学	物質理工	1	0	1
東京農工大学	農	0	1	1
一橋大学	商	1	0	1
新潟大学	医	1	0	1
山梨大学	工	1	0	1
信州大学	工	3	0	4
	農	1		
静岡大学	人文社会科	0	1	2
	工	1		
滋賀大学	データサイエンス	1	0	1
鳥根大学	人間科学	1	0	2
	総合理工	1		
広島大学		0	2	2
	理	0		
高知大学	理工	0	1	1
琉球大学	理	1	0	1
合 計		57	10	67

私立大学

大学名	現役	浪人	合計
東北芸術工科大学	1	0	1
国際医療福祉大学	10	0	10
東北福祉大学	1	0	1
獨協大学	10	8	18
日本工業大学	0	1	1
文教大学	2	2	4
明海大学	1	0	1
東都医療大学	1	0	1
神田外語大学	7	1	8
敬愛大学	5	0	5
淑徳大学	11	1	12
城西国際大学	5	0	5
聖徳大学	2	0	2
千葉工業大学	32	9	※90
	※複数合格者数		
千葉商科大学	1	0	1
中央学院大学	1	0	1
帝京平成大学	9	1	10
東京情報大学	6	1	7
秀明大学	4	0	4
和洋女子大学	5	0	5
千葉科学大学	1	0	1
了徳寺大学	4	0	4
青山学院大学	10	2	12
桜美林大学	1	0	1
大妻女子大学	6	2	8
学習院大学	11	4	15
北里大学	11	3	14
共立女子大学	4	0	4
杏林大学	8	0	8
慶應義塾大学	7	3	10
工学院大学	3	2	5
國學院大学	11	2	13
国士舘大学	4	0	4
駒澤大学	4	8	12
駒沢女子大学	1	0	1
実践女子大学	3	1	4
芝浦工業大学	19	27	46
順天堂大学	11	0	11
上智大学	7	1	8
昭和女子大学	1	1	2
昭和薬科大学	1	0	1
成蹊大学	7	2	9
成城大学	10	5	15
清泉女子大	2	0	2
専修大学	0	3	3
大正大学	6	0	6
大東文化大学	1	2	3
多摩美術大学	1	0	1
中央大学	23	14	37
津田塾大学	3	2	5
帝京大学	2	1	3
東海大学	8	4	12
東京家政大学	5	1	6

大学名	現役	浪人	合計
東京経済大学	1	0	1
東京工科大学	4	2	6
東京女子大学	4	1	5
東京電機大学	8	1	9
東京農業大学	7	1	8
東京薬科大学	1	0	1
東京理科大学	18	9	27
東邦大学	38	3	41
東洋大学	44	35	79
二松学舎大学	4	1	5
日本女子大学	4	1	5
日赤看護大学	2	0	2
日本大学	74	14	88
法政大学	45	7	52
星薬科大学	3	0	3
武蔵大学	4	4	8
東京都市大学	0	1	1
武蔵野音楽大学	1	0	1
武蔵野大学	6	2	8
武蔵野美術大学	2	0	2
明治大学	21	15	36
明治学院大学	9	4	13
明星大学	1	0	1
立教大学	16	6	22
立正大学	4	1	5
早稲田大学	16	7	23
学習院女子大学	1	1	2
東京医療保険大学	9	1	10
東京聖栄大学	1	0	1
東京未来大学	1	0	1
東京有明医療大学	1	0	1
神奈川工科大学	0	1	1
神奈川大学	4	2	6
産業能率大学	0	2	2
フェリス学院大学	1	0	1
横浜薬科大学	1	0	1
金沢医科大学	0	1	1
中京大学	2	0	2
京都外国語大学	1	0	1
同志社大学	0	3	3
佛教大学	0	1	1
立命館大学	3	9	12
関西大学	1	0	1
関西外国語大学	1	0	1
近畿大学	4	0	4
合 計	678	250	※977

※：複数合格者数

公立大学

大学名	学部	現役	浪人	計
茨城県立医療大学	保健医療	1	0	1
千葉県立保健医療大学	健康科学	10	0	10
首都大学東京	都市環境	1	2	4
	システムデザイン	1		
新潟県立大学	国際地域	1	0	1
合 計		14	2	16

平成31年度 全合格者数

() 内は理数科内数

大 学	現役 (理数科)	浪人	計
国立大学	57 (4)	10	67
公立大学	14 (2)	2	16
大学校	0 (0)	0	0
小 計	71 (6)	12	83

大 学	現役 (理数科)	浪人	計
私立大学	678 (54)	250	※977
国公立短大	0 0	0	0
私立短大	0 0	1	2
総 計	749 (60)	251	※1061

※複数合格者数

同 | 窓 | 会 | 総 | 会 | 報 | 告

令和元年度の同窓会総会は、8月3日に大和屋旅館にて、54名出席の下、開催されました。鎗田会長からは、130周年記念式典が学校、同窓会、PTAの協力の下、成功裏に行われ、また募金活動に対しては会員の皆様のご協力を頂き、1191件の応募があり、総額21,044,103円もの浄財が寄せられ、記念事業推進が可能になったことへの感謝の言葉が述べられました。また、会長への諮問小委員会として、同窓会の活動基盤である同窓会費について検討するもの、将来の長生高校の中高一貫校化について検討するものを設置したい旨の提案がありました。



土屋校長の代理として出席された勝部教頭先生からは、創立130周年記念事業で計画されたアクティブラーニングルーム設置に向け、業者選定が終了し、現在工事が進捗中であり、令和元年9月に完成予定である旨の報告がありました。また、SSH(Super Science High School)指定後の中間評価で、本校が高い評価を受けたことなども報告されました。

続いて来賓の茂原市長の田中豊彦氏、県議会議長の阿井伸也氏よりご挨拶をいただき、石井準一参議院議員からの祝電の披露があり、議案の審議に移りました。今回は、例年の審議事項以外に、副会長の10人体制化(8つの地域支部から各1名、会長の委嘱するもの1名、および校長)とそれに伴う会則改定、若干の役員交代などが審議可決されました。また、同窓会報発行経

費の赤字拡大への対策を含む、同窓会活動経費を今後いかにまかなうかについて活発な議論がなされました。

総会後には、昭和42年卒で、海外の日本人学校の校長として

活躍された古山文夫様から、「外国で学ぶ子供たち～イスタンブール日本人学校を中心として～」と題した講演がありました。多数の写真や動画を用いて、外国の日本人学校の様子が現地での生活ぶりも交えて説明され、大変興味深いものでした。また講演の最後に、古山様のギター伴奏により全員で長生高校の校歌を斉唱したのも良い思い出となりました。

医療法人社団 豊栄会

長 島 医 院

理事長 長 島 通 (昭和49年卒)

長 島 豊 美 (昭和49年卒)

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮 2551-6
TEL.0475-42-8800 FAX.0475-42-8886

あなたの身になってお応えする
税金のホームドクターです

長谷川税務会計事務所

所長 長谷川 拓人 (昭和50年卒)
税理士

〒299-3218 千葉県大網白里市北飯塚330

電 話 0475-73-0700(代)
ファクシミリ 0475-73-0701番
メールアドレス t-hasegawa@hase-kaikei.com
<http://hase-kaikei.com>



株式会社 MSK

一般社団法人 全国警備業協会 千葉県・東京都・埼玉県・
福島県・神奈川県警備業協会 全千葉警備業協同組合 加盟

代表取締役会長
加 藤 智 行 (昭和50年卒)

本社
〒263-0031 千葉市稲毛区稲毛東3-6-15 川治ビル3F
TEL.043-245-3151 FAX.043-245-3997
URL <https://www.mskweb.net/>



株式会社 榎出版社

味わいのある生活を提案する“趣味の雑誌”を出版する会社です。

代表取締役 角 謙 二
(昭和50年卒)

〒158-0096 東京都世田谷区玉川台2-13-2
TEL.03-3708-1781 FAX.03-3708-8045
<https://www.ei-publishing.co.jp/>

平成30年度会務報告

- 平成30年 平成30年度入学式 入学者340名(普通科280名, 理
4.9 数科40名, 定時制9名) 鎗田会長祝辞
- 4.13 長生高校職員歓送迎会 鎗田会長・中村副会長・高
梨副会長・四之宮副会長出席 於 カアナパリ
- 5.10 平成30年度同窓会役員会 常任幹事会への提出議案
の策定ほか
役員・事務局14名参加 於 応接室
- 5.27 神奈川県梨葉会総会 白井監査, 大井会長(東京),
土屋校長出席 於 横浜崎陽軒本店
- 6.14 東京長高会 鎗田会長, 安藤顧問, 黒田会長(神奈
川) 土屋校長出席 於 品川プリンス
- 6.21 同窓会常任幹事会 同窓会総会への提出議案審議28
名出席 於 大和屋
- 6.22 創立100周年記念教育振興基金運営委員会 鎗田会
長, 中村副会長, 四之宮副会長, 白井監査, 事務局
吉永出席 於 応接室
- 7.4 千葉市役所梨葉会 鎗田会長, 佐藤教頭出席 於 東
天紅
- 7.12 『天夢塾』実施 講師8名 対象1学年生徒
- 7.20 京葉梨葉会 鎗田会長, 勝部教頭出席 於 スカイ
ウィンドーズ 東天紅
- 8.4 平成30年度同窓会総会 講演 土屋俊一校長 参加
者39名 於 大和屋
- 8.29 県庁梨葉会 鎗田会長, 土屋校長出席 於 プラザ
菜の花
- 10.20 市原支部総会 鎗田会長, 佐藤教頭出席 於 鎌取コ
ミュニティセンター
- 10.28 大網白里支部総会 安藤顧問, 鎗田会長, 白井監査,
鈴木会長(茂原) 勝部教頭, 吉永教諭出席 於 エ
ンジ荘
- 11.16 『天夢塾』実施 講師8名 対象2学年生徒
- 11.17 長生支部総会 鎗田会長, 高梨副会長, 土屋校長出
席 於 一宮シーサイドオーツカ
- 11.25 夷隅梨葉会総会 鎗田会長, 中村副会長, 土屋校長
於 勝浦ホテル三日月
- 12.7 職員忘年会 鎗田会長出席 於 白砂
- 平成31年 『天夢塾』実施 講師 米本 哲郎(H26定) 対象
1.10 定時制生徒全員
- 2.1 同窓会常任幹事会 36名参加 於 竹りん
- 3.1 長高同窓会報第25号発行
- 平成30年度卒業証書授与式 全日制普通科277名, 理
3.9 数科39名, 定時制普通科14名 鎗田会長祝辞, 四之
宮副会長, 白井監査出席

平成30年度 同窓会会計報告

平成30年度一般会計 収入総額 3,254,058円
支出総額 2,061,362円
差引残額 1,192,696円(次期繰入)

(1) 収入の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
入会金	1,005,000	1,008,000	3,000	全日制 321名×3,000円 定時制 15名×3,000円
繰越金	1,307,118	1,307,118	0	前年度末一般会計より
利息	10	7	△3	一般会計預金利息
雑収入	0	9,000	9,000	名簿代金等
寄付金	0	929,933	929,933	寄付金
合計	2,312,128	3,254,058	941,930	

(2) 支出の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
会議費	30,000	0	△ 30,000	総会、常任委員会、役員会等
儀礼費	600,000	486,000	△ 114,000	祝儀、餞別等
事務費	350,000	308,560	△ 41,440	卒業証書ホルダー、切手、 送料等
旅費	85,000	81,000	△ 4,000	各種同窓会出席等
助成金	800,000	800,000	0	教育振興基金へ
繰出金	0	0	0	基本金会計へ
事業費	350,000	317,370	△ 32,630	天夢塾
Web費	50,000	50,432	432	ドメイン料・サーバー料・ホム -p更新費
予備費	47,128	18,000	△ 29,128	転退学による入会金返金6 名×3,000円
合計	2,312,128	2,061,362	△ 250,766	

平成30年度基本金会計 収入総額 6,470,334円
支出総額 0円
差引残額 6,470,334円

(1) 収入の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
繰越金	6,470,334	6,470,334	0	前年度末基本金会計より
利息	0	0	0	基本金会計払い戻しによる 利息
繰入金	0	0	0	
合計	6,470,334	6,470,334	0	

(2) 支出の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
繰出金	0	0	0	

会報委員会会計報告

(1) 収入の部 (2) 支出の部 (単位:円)

項目	決算額	項目	決算額	摘要
繰越金	2,019,165	会報印刷	1,487,786	会報25号
賛助金	1,207,111	宛名,振込用紙印刷	360,062	会報25号
広告費	1,000,000	発送費用	1,311,888	会報25号
利息	10	賛助金振込手数料他	50,988	
戻入金	0	雑費	4,536	
合計	4,226,286	合計	3,232,232	

差引残高 994,054円(次期繰入)

平成30年度 創立100周年記念教育振興基金決算書

1 教育振興基金 普通預金 4,300,000円
2 教育振興基金運営決算 収入総額 1,964,625円
支出総額 1,795,235円
差引残額 169,390円

(1) 収入の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
繰入金	800,000	800,000	0	同窓会から800,000円
雑収入	0	0	0	
繰越金	1,164,625	1,164,625	0	平成29年度からの繰越金
合計	1,964,625	1,964,625	0	

(2) 支出の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
部活動助成	1,083.87	1,083,874	0	関東・全国大会出場激励費, 垂れ幕 硬式テニス部, 弓道 部施設使用料補助
生徒・ 教員研究活動	498,951	498,951	0	海外派遣補助, テレビ会議 システムリース料 豪州姉 妹校との青少年交流事業参 加補助
進学・就職指導助成	351,800	212,410	139,390	教育セミナー受講料
生徒の修学助成	30,000	0	30,000	
合計	1,964,625	1,795,235	169,390	

訃報

謹んで追悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

25号発行後にご家族、知人よりご連絡いただきました方々の卒年・お名前をお知らせいたします。

Table with 2 columns: 卒年 (Year of Death) and 氏名 (Name). Includes names like 小出 義雄, 和田 裕之, etc.

Table with 2 columns: 卒年 (Year of Death) and 氏名 (Name). Includes names like 三十尾 眞住, 木島 利重, etc.

Table with 2 columns: 卒年 (Year of Death) and 氏名 (Name). Includes names like 齊藤 仲次, 白井 洋久, etc.

Table with 2 columns: 卒年 (Year of Death) and 氏名 (Name). Includes names like 鳥田 礼子, 内山 幸信, etc.

訃報は事務局で確認したものを掲載いたします。事務局まで直接ご連絡くださいますようお願いいたします。前号で後久昭様(S42)を記載しておりましたが、本号に記載した後久正彦様(S39)の間違いでした。ここに訂正してお詫びいたします。

令和元年度 千葉県立長生高等学校同窓会役員名簿

Table of officers: 顧問 (Advisors), 参与 (Participators), 会長 (President), 副会長 (Vice President), 監査 (Auditors), 常任委員 (Regular Members).

Table of officers: 常任委員 (Regular Members) - continued list of names and years.

Table of officers: 常任委員 (Regular Members) - continued list, including regional branch representatives (地域支部代表).

Table of officers: 会報委員 (Newsletter Committee), 天夢塾委員 (Tenmutsu Committee), 事務局 (Secretariat).



株式会社 サトペン

おかげさまで60年

代表取締役会長 佐藤 順一 (昭和51年卒)

代表取締役社長 佐藤 仁雄 (昭和52年卒)

本社 茂原市早野972 TEL:0475-24-6846



外科・内科・整形外科・皮膚科・形成外科・消化器内科・外科・泌尿器科・肛門外科・乳腺外科・リハビリテーション科

※休診日・祝

※診療曜日、時間はお電話でご確認ください

理事長 穴倉 朋胤 (昭和59年卒)

〒297-0029 茂原市高師687 TEL 0475-24-2171(代)

長高同窓会報第25号賛助金協力者および寄付金応募者 (2019年1月1日~2019年12月31日) ※1口=1,000円

卒年	氏名	口数	卒年	氏名	口数	卒年	氏名	口数	卒年	氏名	口数	卒年	氏名	口数
旧職員	渡 辺 正	1	S29T	佐 藤 豪	5	S34	福 山 香 苗	20	S39A	田 村 勝	10	S43E	井 内 顯 策	10
旧職員	加 藤 年 雄	3	S29T	小 守 一 生	2	S34	垂 井 功 博	5	S39C	齋 藤 博 安	5	S43E	鹿 間 博 文	2
旧職員	吉 野 卜 三	3	S29T	小 鏡 田 登	5	S34	鈴 木 妙 子	1	S39C	小 倉 弘	4	S43G	三 戸 聖 一	1
旧職員	中 村 操	6	S29T	鹿 倉 英 登	3	S34	森 川 美 由	1	S39G	小 玉 川 孫 一 郎	1	S43G	三 英 聖	5
旧職員	鈴 木 均	1	S30	鹿 倉 次 雄	3	S34	村 恒 夫	5	S39H	志 津 登 美 男	1	S43H	三 枝 裕	10
支部	市 原 支 部	34	S30	吹 野 真 弓	2	S34	安 斎 伸 茂	5	S39H	荒 井 俊 行	5	S43H	小 守 千 明	5
S10	蒔 田 三 朗	3	S30	吉 田 茂	1	S34T	矢 部 襄 明	3	S39H	伊 藤 博 稔	10	S43I	丸 山 洋 子	1
S16	秋 葉 義 昭	10	S30	湯 浅 郁 夫	10	S35A	東 條 克 彦	1	S39T	吉 野 敏 夫	5	S43I	村 上 一 郎	5
S16	奥 津 春 雄	5	S30	田 所 美 佐 子	10	S35B	中 村 玲 子	10	S39T	北 根 時 夫	10	S43I	加 藤 和 博	5
S17	鈴 木 隆 二	3	S30	杉 田 忠 聰	5	S35D	高 山 忠 勇	2	S40A	匿 夫 名	5	S43I	齋 藤 正 博	5
S20	竹 内 永 隆	2	S30	峰 島 六 郎	3	S35D	花 澤 穎 子	10	S40C	加 田 敏 彦	10	S43I	金 坂 潤	2
S20	片 岡 利 雄	10	S30	鶴 岡 幸 子	10	S35E	大 畑 雅 美	5	S40C	古 山 晴 久	5	S43T	鶴 澤 誠	3
S20	大 野 昌 美	2	S30	齋 藤 安 正	3	S35F	片 岡 正	2	S40D	小 西 一 豊	10	S44A	華 表 由 紀 子	1
S20	中 山 昭 夫	3	S30	西 村 亮	5	S35H	佐 々 木 武 二	3	S40D	最 首 一 利	2	S44B	匿 名	1
S20	北 澤 侑 雄	1	S30	仁 村 晶 代 子	3	S35H	円 城 寺 博 弘	6	S40E	山 方 妙 子	10	S44C	石 崎 千 代 子	1
S20	吉 田 敏 夫	10	S31	石 井 和 子	6	S36A	浅 野 博	3	S40E	莊 司 美 沙 子	5	S44D	湯 原 由 雄	2
S21	渡 辺 喜 八 郎	2	S31	浅 野 和 夫	5	S36C	柳 川 美 幸 子	10	S40E	三 橋 一 康	2	S44D	波 多 野 知 保	1
S21	緑 川 博 夫	2	S31	小 西 芳 江	3	S36C	三 次 和 子	5	S40E	山 田 幸 代	5	S44D	井 上 千 枝	1
S21	小 池 洋 一	5	S31	鈴 木 靖 国	10	S36C	元 吉 昭 雄	3	S40F	岡 澤 好 展	10	S44E	菊 地 通 雅	4
S23	麻 生 藤 雄	10	S31	牧 野 洋 子	5	S36D	白 石 尚 子	10	S40F	齋 藤 春 芳 子	5	S44F	中 村 一 男	5
S23	千 葉 弥 千 雄	2	S31	鈴 木 厚 生	1	S36D	杉 崎 武 侯	10	S40G	高 瀬 直 子	20	S44F	竹 内 絹 代	2
S23	岡 沢 恒 夫	5	S31	富 田 生 男	2	S36D	小 松 川 典 久	5	S41A	三 橋 三 千 男	5	S44F	渡 辺 公 孝	10
S23	木 嶋 夫 夫	20	S31	冨 田 繁 三	5	S36E	吉 村 志 保	10	S41A	内 藤 好 枝	2	S44G	藤 平 幸 司	6
S24	畑 英 夫	2	S31	関 谷 良 三	6	S36E	高 野 由 美 子	1	S41B	白 井 伸 夫	10	S44H	高 師 歳 邦	2
S24	堀 口 栄 三 郎	2	S31	鶴 澤 三 守	2	S36F	檜 和 田 金 弥	5	S41C	石 井 茂 隆	2	S44H	藤 枝 文 秀	10
S24	酒 井 祐 一	5	S31	木 島 敏 彦	5	S36F	山 本 忠 一	1	S41C	山 本 久 美 子	2	S44I	渡 辺 美 津 子	5
S24	大 野 智 司	2	S31	市 原 安 矩	5	S36F	田 中 洋 一	15	S41C	遠 山 文 枝	2	S44I	和 田 哲 夫	1
S24	古 川 幸 男	10	S31	矢 部 重 一	5	S36F	緑 川 宏 行	3	S41C	植 草 ふ じ	5	S45B	岡 島 和 夫	3
S24	竹 林 正 俊	3	S31	三 枝 一 枝	3	S36F	太 田 雅 司	3	S41C	村 田 博	2	S45B	岡 田 正 樹	10
S24	鶴 澤 弘	2	S31	麻 生 赴 夫	5	S36H	吉 安 和 夫	10	S41C	村 田 章 子	5	S45C	市 東 宗 男	5
S24	内 山 壽 一 郎	20	S31	岡 本 芳 郎	2	S36H	町 田 義 昭	10	S41C	武 内 靖 子	10	S45D	鈴 木 世 津 子	2
S25	三 上 幸 雄	1	S31	相 忠 男	5	S36H	池 田 正 夫	2	S41D	太 田 弘 子	5	S45D	小 高 満 男	10
S25	佐 久 間 庸 夫	5	S31	安 藤 轟 男	100	S36H	斉 藤 嘉 光	5	S41E	熊 川 啓 之 助	10	S45D	田 上 賢 治	3
S25	岩 瀬 義 夫	3	S31T	加 藤 敬 子	5	S36T	山 形 文 一	3	S41E	渡 辺 公 一	2	S45E	清 田 助 助	2
S25	中 村 知 範	10	S31T	石 川 幸 男	3	S36T	野 島 千 里	3	S41F	石 井 敏 夫	5	S45E	北 島 通 子	5
S25	倉 持 稔 稔	10	S32	米 倉 英 子	2	S36T	清 宮 照 子	10	S41F	千 葉 次 郎	5	S45F	鬼 島 正 和	5
S26	江 澤 哲 也	1	S32	山 岸 幸 子	10	S37A	金 坂 瑞 穂	5	S41F	清 田 勝 利	10	S45F	古 山 弘	10
S26	池 田 和 吉	2	S32	鶴 澤 德 二	1	S37A	齋 藤 千 栄 子	10	S41F	遠 藤 真 一	10	S45G	渡 辺 真 也	5
S26	時 田 昇 作	10	S32	丸 島 護	2	S37B	片 岡 吉 弘	3	S41G	北 田 勲 道	5	S45G	松 本 文 雄	3
S26	高 吉 満 満	10	S32	小 関 重 子	10	S37C	黒 葛 原 弘 子	2	S41G	高 橋 正 道	10	S45G	吉 清 広 子	5
S26	若 菜 清 和	2	S32	里 見 仁 仁	5	S37C	森 柳 征 三	15	S41G	渡 辺 直 文	5	S45I	田 本 一 喜	5
S26	平 野 弥 弥	20	S32	石 井 郁 男	10	S37C	青 野 和 幸	2	S41G	里 見 昌 男	3	S46B	外 山 恵 子	2
S26	田 中 彰 彰	2	S32	高 野 政 明	2	S37C	吉 野 美 智 子	3	S41G	武 山 和 子	4	S46C	内 山 小 次 郎	2
S26	安 部 武 俊	3	S32	日 下 忠 文	20	S37E	大 田 敏 子	1	S41H	金 沢 中 道	5	S46E	今 関 栄 一	5
S26	古 峰 清 一	2	S32	有 田 忠 雄	3	S37F	嶋 田 真 理 子	10	S41H	西 山 入 三 江	2	S46F	土 屋 一 成	2
S27	深 山 輝 夫	1	S32T	須 賀 田 覺 信	5	S37F	岡 田 正 昭	5	S41I	目 黒 俊 男	10	S46F	高 山 泰 男	4
S27	最 首 良 雄	10	S33	土 屋 文 雄	5	S37F	滝 口 清 久	2	S41I	平 河 良 夫	2	S46G	中 原 和 彦	2
S27	篠 田 哲 彦	10	S33	永 野 保 夫	3	S37F	伊 藤 弘 昭	10	S41I	進 藤 文 子	2	S46H	緑 川 文 彦	1
S27	井 上 泉 泉	3	S33	高 橋 義 次	1	S37G	吉 田 劭 文	10	S41T	石 川 修	5	S47A	奥 田 勉 勉	5
S27	高 橋 秀 明	3	S33	野 中 利 子	3	S37G	丸 島 弘 也	5	S41T	亀 井 佐 一	2	S47A	齊 藤 友 嘉	5
S28	高 吉 純 夫	3	S33	渡 辺 慶 二	1	S37G	丸 正 喜	5	S42A	高 山 哲	5	S47A	吉 村 公 子	5
S28	堀 越 孝 四 郎	6	S33	藤 平 美 津 枝	2	S37H	橋 本 憲 和	5	S42A	中 関 元 子	10	S47B	小 倉 孝 美	5
S28	千 葉 野 子	2	S33	岡 部 文 彦	3	S37T	伊 藤 久 夫	5	S42A	渡 邊 進	10	S47C	石 川 公 美	1
S28	渡 辺 修 懿	6	S33	高 原 公 彦	5	S37T	吉 田 幸 生	5	S42C	高 山 英 子	10	S47D	波 多 野 耀 市	20
S28T	高 山 文 夫	10	S33	原 佳 子	2	S37T	佐 藤 義 一	5	S42E	齊 藤 泰 史	5	S47D	井 内 欣 一	5
S28T	加 藤 貞 夫	2	S33	清 水 三 郎	10	S38B	林 正 彦	10	S42E	今 井 登 志 男	10	S47E	村 山 桃 子	5
S29	森 川 君 枝	2	S33	木 村 正 博	10	S38B	兵 部 行 遠	10	S42F	田 村 忠 久	1	S47G	鏡 田 圭 一 郎	3
S29	大 宮 英 夫	4	S33	石 井 信 照	5	S38C	蒔 田 登 志 子	20	S42F	井 上 章 夫	10	S47G	磯 部 清 房	3
S29	吉 野 安 行	5	S33	高 原 良 夫	5	S38C	佐 々 木 礼 子	2	S42G	古 山 文 夫	15	S47G	鹿 間 義 弘	10
S29	熱 田 親 憲	2	S33	林 茂 文	3	S38C	荒 川 祥 子	2	S42G	峯 島 悟 夫	20	S47G	篠 崎 文 彦	5
S29	峰 島 繁 儀	2	S33	戸 沢 弘 子	10	S38C	貝 沼 勇 一	5	S42G	齊 藤 敏 夫	2	S47H	関 閑 信 夫	6
S29	高 橋 喜 隆	2	S33	片 岡 岩 夫	10	S38D	麻 生 信 行	5	S42H	正 林 義 博	5	S47H	森 川 明	5
S29	和 田 弘 継	3	S33	梶 憲 一	5	S38D	大 澤 秀 樹	10	S42H	堀 孝 子	1	S47H	安 藤 嘉 朗	2
S29	浅 野 寛 継 子	3	S33	杉 崎 孝 男	5	S38E	中 村 善 二	2	S42I	高 野 だ い わ	2	S47H	須 見 昌 輝	2
S29	速 水 寛 子	2	S33	鴛 鴦 昌	5	S38E	市 原 剛 行	2	S43A	金 田 万 里 子	2	S48A	生 駒 誠 哉	2
S29	田 中 昭 一	3	S33T	小 川 曜 茂	10	S38G	北 信 信	10	S43B	前 田 康 雄	2	S48B	莊 司 保 子	5
S29	月 岡 一 郎	10	S34	菅 諄 郎	3	S38H	林 村 将 英	10	S43C	德 満 静 子	5	S48C	小 関 英 司	10
S29	下 条 和 一	1	S34	井 村 楊 子	3	S38H	井 上 耕 三 郎	5	S43C	小 田 倉 真 正	5	S48C	齋 藤 廣 一	2
S29	刈 込 和 弘	2	S34	岡 田 健 治	10	S38H	深 山 健 也	2	S43C	田 中 清 美	5	S48C	山 田 耕 嗣	3
S29	野 口 武 彦	2	S34	今 野 は る 江	3	S38H	石 田 隆 志	10	S43C	岩 瀬 信 孝	5	S48G	足 高 毅	5
S29	中 村 義 彦	1	S34	安 形 辰 个	3	S38H	丸 孝 昇	5	S43D	松 本 誠 一	10	S48H	今 関 安 雄	10
			S34	幸 治 孝 明	5	S38T	中 村 勲	2	S43E	村 杉 正 洋	5	S48H	戸 村 孝 子	15
			S34	森 川 和	5	S39A	山 田 省 蔵	1		穂 坂 あ い 子	2	S49B	麻 生 計 子	5

卒年	氏名	口数	卒年	氏名	口数	卒年	氏名	口数	卒年	氏名	口数	卒年	氏名	口数
S49C	高橋 弥生	1	S54D	花沢 春雄	2	H01I	大塚 信一郎	10	H10A	高柳 大輔	2	H22E	飯尾 菜美子	2
S49C	高橋 りえこ	3	S54E	佐々木 公美子	3	H02A	山縣 一雅	1	H10D	江澤 直彦	2	H22E	吉松 智哉	2
S49D	木島 義泰	2	S55C	吉永 和彦	10	H02E	白鳥 昌彦	2	H10F	佐久間 智子	2	H22H	小高 大祐	2
S49D	江崎 晶子	2	S55G	久保 聖	5	H02E	西谷 真由子	2	H10G	小林 悠紀	2	H23A	倉持 孝明	1
S49E	蒔田 文雄	2	S55H	橋 とも子	5	H02G	加藤 一郎	2	H10J	西周 慶久	2	H23F	高澤 美佑紀	2
S49E	匿 名	1	S56A	白井 由美子	5	H02I	磯崎 憲	3	H11D	小泉 光	2	H23F	高野 宏	2
S49F	岩田 範治	1	S56A	永島 謙	5	H02J	齋藤 淳	3	H11D	洞内 由紀子	2	H24A	西郡 佳奈子	2
S49F	山本 明子	2	S56A	江澤 京子	10	H03A	青柳 有紀	2	H11E	久我 和也	2	H24A	高田 三鈴	2
S49H	石塚 達郎	50	S56C	松本 健二	6	H03B	齊藤 嘉孝	5	H11F	山本 裕紀子	2	H24B	高吉 容子	2
S49H	山田 美代子	5	S56D	石井 真紀子	5	H03F	阿部 嗣	10	H11F	野口 大輔	2	H24B	中村 葉	2
S50A	荒澤 直美	1	S56G	小沼 博子	3	H03G	半田 益子	2	H11F	殿岡 恵子	2	H24G	山倉 立也	2
S50B	野口 志成	5	S56H	鶴岡 靖郎	10	H03H	大木 専一郎	10	H11G	石井 俊充	2	H24H	野口 貴大	2
S50B	愛敬 一幸	5	S57A	久保 隆	3	H03J	山口 賢一郎	2	H11G	西川 洋史	2	H25B	倉持 昌明	1
S50B	角 謙二	5	S57A	豊田 武文	10	H04C	宮本 希世香	3	H11J	湯本 良明	2	H25E	河野 真実	2
S50B	尼子 たか子	2	S57B	三上 有佳	2	H04F	蒔田 勇治	20	H12B	吉田 幸代	2	H25G	都築 悠博	2
S50C	石野 孝和	10	S57D	石井 敏	3	H04F	田中 和男	3	H12D	田中 尚子	2	H26C	秋葉 高博	2
S50C	谷川 弘治	3	S57E	川崎 宏薫	5	H04G	遠藤 敏夫	5	H12E	高橋 佐知	2	H26C	石野 美里	2
S50D	長谷川 拓人	20	S58A	浜野 恵子	1	H04G	荘司 和樹	5	H12E	藤田 伸和	2	H26D	瀬尾 友梨	2
S50E	河野 政弘	5	S58F	嶋田 悟	2	H04H	小野 真紀子	1	H12F	鈴木 宏介	2	H26E	石井 俊輔	2
S50E	良原 武夫	10	S58G	小柳 浩	2	H04H	峯村 真紀	1	H12G	江澤 亜矢香	2	H26F	阿曾 拓海	2
S50E	宮崎 亮一郎	2	S58G	浅野 健治郎	3	H04I	鈴木 千春	2	H12H	渡辺 純一	10	H26F	金杉 博樹	2
S50E	金木 正美	5	S59A	田中 亜紀子	2	H04J	磯野 嶋	3	H12I	出野 雄大	2	H26G	長谷川 大樹	2
S50F	酒井 百穂	1	S59C	鶴岡 嘉孝	5	H04T	藤代 郁子	1	H12I	出水 雄祐	2	H27B	小高 航	2
S50H	高野 貞夫	4	S59C	川崎 由紀	2	H05A	畠山 賢陀	10	H12J	伊藤 健	2	H27C	岡澤 佑樹	2
S50H	大曾根 健久	2	S59D	加藤 浩	5	H05D	花田 麗	2	H13F	麻生 真由美	2	H27D	板垣 興明	2
S51A	村杉 勝美	5	S59F	阿曾 弘信	5	H05D	山口 有紀	5	H14C	伊藤 常子	2	H27F	大石 夏輝	2
S51A	佐藤 信二	10	S59F	佐藤 彰弘	5	H05E	加藤 源一	2	H14D	川井 健一郎	2	H27H	武田 史織	2
S51A	麻生 仁	2	S59H	武井 直子	5	H05I	田中 博和	3	H14G	唐鎌 北斗	2	H28A	矢部 千晶	2
S51A	平山 桂子	2	S60C	森 裕嗣	5	H05I	中沢 芳彦	2	H15C	中村 匡	2	H28A	浅野 謙人	2
S51C	青盛 功江	2	S61B	齋藤 篤男	5	H05I	末森 洋紀	3	H15B	吉崎 千晶	2	H28B	滝口 真帆	2
S51C	板倉 千尋	2	S61D	川名 美智子	2	H05I	森池 亜津子	2	H15F	愛敬 千夏	2	H28B	水野 悠	2
S51C	村上 智子	2	S61E	藤崎 三千世	1	H06A	野地 章子	1	H15G	井上 裕	2	H28F	石渡 正典	2
S51D	吉永 徳子	2	S61E	小林 創	5	H06B	里見 舞	1	H15H	若菜 正誠	2	H28F	屋城 百花	2
S51E	若林 みゆき	1	S61E	田中 君枝	10	H06C	伊藤 亜紀子	2	H15I	田村 真人	2	H28H	加藤 哲志	2
S51E	勢見 次	2	S61E	高山 智子	5	H06C	高田 雅弘	1	H16B	時田 和樹	2	H28H	池田 昌紀	2
S51G	鎌田 裕美	2	S61H	高市 素明	1	H06G	梶原 一朗	1	H16F	緒形 希奈	2	H29D	時友 菜摘	2
S51H	大金 陽和	5	S62A	青柳 寿美子	3	H06G	石谷 哲二	5	H16F	船越 洋平	12	H29E	丸山 昌則	2
S52B	川上 順子	1	S62A	野村 賢一	5	H06G	深谷 康祐	3	H16H	米本 圭吾	2	H29F	村瀬 朱音	2
S52B	高橋 陽子	5	S62B	柳島 宏	10	H06I	小守 輝	2	H16I	関 智美	2	H29F	西 耕央	2
S52C	縄野 敏子	5	S62C	齊藤 かほる	3	H06J	猪野 囃和子	1	H16I	千葉 晃大	2	H29H	河野 翔太	2
S52C	大塚 力	5	S62C	奥苑 節子	3	H06J	君塚 明宏	2	H17A	時田 康正	2	H29H	江澤 朋哉	2
S52D	鶴岡 英美	1	S62E	松田 信子	10	H07B	澤田 由紀子	2	H17C	福岡 夏海	2	H30B	大房 勇斗	2
S52E	石井 薫	10	S63	風戸 真美	15	H08C	藤江 成光	2	H17D	大村 智史	2	H30B	古川 祐太朗	2
S52E	鶴岡 誠	10	S63A	高木 由佳	2	H08F	千葉 なお美	2	H17I	井下 田涉	2	H30C	長谷川 智彦	2
S52F	高梨 栄三	5	S63A	荒井 宏和	5	H08F	佐久間 晶子	1	H18A	藤間 理沙子	2	H30D	鈴木 優弘	2
S52F	江澤 完誠	5	S63B	小野 弘美	3	H09C	北田 悦子	2	H18G	氷見 敦	2	H30D	田村 美樹	2
S52G	熱井 勤	10	S63C	匿 名	2	H09D	久我 裕介	2	H18I	高橋 秀和	2	H30D	中島 えみり	2
S53B	今井 洋一	2	S63F	古市 茂紀	5	H09E	丸島 栄美子	5	H19A	太田家 健佑	2	H30E	鈴木 文人	2
S53E	佐藤 光一	3	S63G	渡部 智之	2	H09F	三次 充和	2	H19C	高師 貴	2	H30F	村田 遙夏	2
S53F	鶴岡 達生	1	S63H	山本 敏弘	2	H09H	渡邊 耕	2	H19C	松島 悠史	2	H30G	吉田 拓未	2
S53H	横堀 喜一郎	5	H01A	野本 三鈴	1	H09I	高橋 誠一郎	2	H19D	岩瀬 百合花	2	H30G	兼井 映美	2
S54A	長野 文恵	4	H01E	島崎 陽子	10	H09I	目黒 絵美	2	H20D	遠藤 潤一	2	H30G	羽鳥 菜月	2
S54B	金坂 俊男	4	H01G	椎名 かほり	5	H09J	青柳 守紘	2	H20F	畠山 康男	2	H30H	片岡 壮太	2
S54C	匿 名	5	H01H	吉田 淳	10	H09J	大場 宏幸	2	H20H	吉本 志穂里	2	H30H	福永 しおり	2

応募者数	643
総口数	2986
(内訳)	
賛助金	1815
寄付金	1171
(口数は四捨五入値)	

総合建設業 一級建築士事務所



株式会社 山崎組

代表取締役 山崎 忠一
一級土木施工管理技士 山崎 孝史 (平成17年卒)

〒299-4123 千葉県茂原市下太田1183-2
TEL 0475(34)1211 FAX 0475(34)5048

寄付のお願い

今回も沢山の方から温かいご支援を頂き有り難うございます。
前年よりも多くのご寄付を頂きましたが、会計はまだ赤字基調が続いております。
今後の同窓会活動を支えていくためにも、皆様の一層のご支援をお願いいたします。

美術部作品展



美術部インタビュー記事は25ページにあります。

Twitter [@Chokou_bijutu](#)とInstagram [@chousei_bijutu](#)で、他の作品もご覧頂けます。

編 | 集 | 後 | 記

今年もまた同窓会報をお手元にお届けします。皆様が一時でも母校のこと、旧友のことなどについて思いを巡らすきっかけになれば幸いです。昨年は、これまで経験したことのないような強風の台風15号、東日本の広範囲に洪水をもたらした台風19号、そして長生高校のある茂原市とその周辺に洪水をもたらした台風21号と、立て続けに台風被害を受けました。同窓生、在校生、教職員およびそのご家族、ご関係先で被害を受けられた方々に深くお見舞い申し上げます。

母校では、創立130周年記念事業への寄付金2100万円余を利用したアクティブラーニングルームが完成しました。これからの多様な教育に生かされることを期待したいと思います。

今号でも各分野で、また北海道から沖縄までの広い地域で、活躍しておられる同窓生に登場していただきました。また食に関わるお仕事に携わる方々へのインタビュー記事も掲載しましたが、いかがでしたでしょうか。長高出身者は、なかなか多彩ですね。

会報発行経費に関しましては、昨年度赤字が100万円に拡大し、繰越金も尽きかけております。寄付金や広告掲載で援助して頂いている皆様に篤く感謝申し上げますと共に、今後の会報発行維持のため、皆様の一層のご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。